

目次

- 1…總會のご案内
- 2…事務局より
大阪白水会予算報告
- 3…新しい飛躍をめざして
- 4…母校便り、各科便り
- 7…56年度卒業生の進路
- 13…会員だより
- 17…故山知阿利一君を悼む
- 18…泉工旗に護もられて
- 20…山下社長と私
- 21…55年度会費納入者一覧

白水会報

発行所
大阪市立泉尾工業高等学校内
大阪白水会
〒551
大阪市大正区泉尾5-16-7
TEL 大阪 552-2221代
報 警 大 阪 8 2 9 6 6
発行人 長野 蘭 藏
編集責任者 北 川 恒 夫

六十周年記念事業 達成にご協力を

会長 長野 蘭藏 (C4)



母校は来年十月に創立六十周年を迎える。人生では遷暦を迎えると、赤いチャレンジャーを着せてお祝いする。母校も、この祝に記念事業として、記念誌の発行、記念式典、増改築建物の施設・設備の充実、そのを行うことを計画している。

来年十月頃には、工業化学科、窯業科、記念館の増改築完工が予定され、既に新装完了した機械科、電気科、繊維工業科、色染工業科に新たに二科が加わって全科の建物が完成し、面目一新されることは、我々卒業生として誠に喜ばしいことである。

去る五月二十二日に白水会役員、理事会を開催した

ところ、各役員、理事諸君は、それぞれ立って母校愛にあふれる次の発言があった。

(一) 母校生徒の質の向上に教育面での善処要望、特に最近失なわれつつある泉工卒業生の伝統(質実剛健、刻苦精勵、不撓不屈、創意工夫)と名誉をうしなわないうように切望する。

(二) 六十周年記念事業の達成には、全員もろ手を挙げて発起人になり協力する。誠に、ありがたく、感激の至りでした。

二十九日は東京支部の総会に出席、盛大な歓迎を受けた。会員(約二百名)いずれも精銳ぞろいで、一方の旗頭として活躍されている人が多く、そのファイトと母校愛は大きく、前五十年記念事業募金には支部をあげて多大に協力された当時の礎支部長(現顧問)支部役員の方々及び会員の皆様から記念事業にはいくらか出せばよいのか、募金の

進捗状況を知らせよ、協力は惜しまない等、力強い励ましの言葉をいただいた。

この事業達成には多額(募金目標額五百万以上)の資金が用いられるので、全会員各位のご協力によるほかりません。

募金には発起人が直接お願いに何うこともあると思えますので、その節は何分よろしくご協力をお願い申し上げます。

また、募金の方法等について良い知恵がありましたらご教示下さい。私も母校に対する最後のご奉公と思いい努力する所存です。

最後に、年会費にふれませんが、五十六年度予算案にも見られる通り、印刷、郵送費増、新入会員歓迎費増退職記念品料など時代に合った経費増の現状から、どうしても年会費の増収をはかる必要があります。

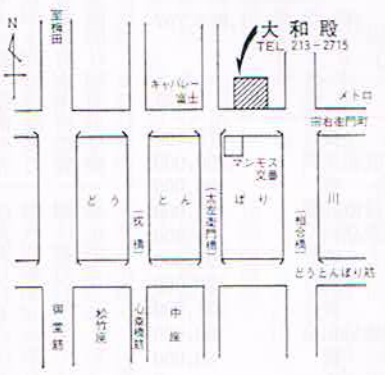
その方法については種々考えられますが、現在の年会費納入者は六百名前後で、これを全卒業生一万余の少くとも一〇%に増加すれば可成り運営が楽になりますので、会員相互の年会費に対する周知徹底をお願いして、払込み促進と住所不明の方々を明確化などよろしくご協力下さい。

◆ 總會のご案内

總會を機会にクラス会・クラブの集いにもご利用いただき、旧交を温め、大阪白水会を発展させよう。

新入会員の多数出席をお願いいたします。

日時 7月17日(金) 18時30分
会場 大和殿(電話二二三一二七二五)



会費 三、五〇〇円 ただし55年、56年の卒業生は一、五〇〇円

議事の時間を短縮しますので、会報の決算書、予算案をお目通し願います。

事務局より

「60周年記念事業募金に積極的なご協力を」

平素は何かと会発展のため、母校のためにご尽力を賜わり厚くお礼申し上げます。昭和五十七年に泉工の歴史も還暦を迎えます。老朽化した薬業科、工業化学科実習場の新築工事が今、急ピッチで進められて

いる。敷地の関係で五十周年記念館は二期工事で撤去され、新実習場の五階に早期実現、さらに体育館新築の青写真も提出され、早期着工への運動が展開されて

いる。東洋一を誇った泉工実習場と優秀な卒業生の努力が、天下の泉工として営々と発展を続け、産業界に大きな足跡を残してきた。この実習の学び舎がすべて生まれかわるこの期を契機として、「白水の流れを絶やさない」の「前線田」の会長の名言を心に、さらに学校の環境整備を拡大し、薄れゆくように思われる先輩、後輩の心のつながりを深く、母校の教育効果をかめ、生徒が先輩の心に答えようとする気構えを起

し、泉工の卒業生としてふさわしい態度を身につけさせて社会に雄飛することを望みます。

過日の役員、理事会では長野会長はじめ役員、理事の方々から、また、東京支部の方々から、母校のためならと熱意あふれる言葉をいただき、我々泉工職員は大きな感銘を受けました。どうか、募金運動に全面的なご協力をお願い申し上げます。

募金による記念事業費は五階に建設される新築記念館の施設・設備の充実費にも使用し、卒業生の憩いの場としても利用できるように計画され、余剰金は早期着工を推進しております。体育館の整備に蓄える構想です。

◎募金目標額 一千万円
◆募金方法について

過日の理事会におきまして次のご意見が出ました。

(一)、各理事がクラス単位に集める。(二)、卒業年度に段階をつくり目標額をきめて集める。(三)、各科の目標額を決めて集める。(四)、各役員が積極的提出する。等貴重なお意見をいただきましたが、とりあえず会報に同封いたします。振込み用紙をご利用願ひ、払込通知票の金額欄に会費との合計額をご記入いただき、二面の

通信欄の年会費説明文の下へ、記念募金いくらとご記入願ひれば幸いです。

理事の方々にはお集めいただきやすいように、白水会の領収書を送付させていただきます。

◆年会費ご納入について
昭和46年3月卒業以前の方々、年会費一、〇〇〇円を同封払込み用紙でご納入をお願いいたします。諸経費の高騰で会報の発行等運営が困難になってきております。どうかご協力下さい。

◆終身会費制度の確立について
54年度に、毎年納入は面倒だから終身会費制度を確立してはとのご提案をいただきましたが、次の提案がございましたのでご審議下さい。総会ではかりたく存じます。

(案) (一)、65才以上は会費を無料とする。(二)、年会費は65才までの分を一時に払うことが出来る。ただし、年令は45才以上の会員とする。(三)、寄付金は従来通りとする。

◆住所・地名変更のご連絡は学校内、大阪白水会事務局へ必ずご連絡下さい。

◆55年度広告によるご協力
東京支部一同
見洋磨機機 M 34川瀬充雄

D 31平岡利隆
黒川染工場 D 32黒川忠司
泉化成品機 D 32瀧本廣之
日南印刷機 D 52森本正彦
三國産機機 C 17福原初男
やまがそば C 33木内政雄
佐々木印刷 A 4佐々木義人
千代工業機 M 34中根 潔
間機設工業機 M 37間 文彦
小段金属製作所 M 46小段勇
備日商機機 M 47姫野康通
浜国レーン機 M

役員・理事会よりお願い

60周年記念事業募金達成の発展に寄与したいと存じます。会員の皆様の絶大なご賛同とご協力を願ひ申し上げます。母校では最低目標額を五百万円以上という、ささやかな表現ですが、現状から、この金額では充実したものは不可能と思われれます。一千万円を目標に努力しようではありませんか。

56年度 大阪白水会予算案

〔一般会計〕	
収入総額	1,958,797円
支出総額	1,958,797円
差引額	0
(収入の部)	
項 目	予 算 額
前年度繰越金	153,797
前年度納金	850,000
新入会費	750,000
金 利	5,000
預 金 収 入	200,000
合 計	1,958,797
(支出の部)	
項 目	予 算 額
1. 事業費	1,570,000
1) 会報作成送費	1,200,000
2) 総 会 費	190,000
3) 新入会費	100,000
4) 退職記念品	80,000
2. 会議費	190,000
3. 通 信 費	30,000
4. 事 務 費	31,000
5. 教育後援会	50,000
6. 出張費	80,000
7. 積立金	0
8. 雑 費	7,797
合 計	1,958,797

昭和55年度 大阪白水会決算書

〔一般会計〕		
収入総額	2,181,742円	
支出総額	2,027,945円	
差引額	153,797円 (次年度へ繰越)	
(収入の部)		
項 目	予 算 額	決 算 額
前年度繰越金	418,797	418,797
前年度納金	830,000	857,116
新入会費	700,000	771,060
金 利	10,000	4,589
預 金 収 入	200,000	130,180
合 計	2,158,797	2,181,742
(支出の部)		
項 目	予 算 額	決 算 額
1. 事業費	1,547,000	1,429,050
1) 会報作成送費	1,130,000	1,078,550
2) 総 会 費	300,000	229,000
3) 新入会費	80,000	94,500
4) 退職記念品	27,000	27,000
2. 会議費	200,000	249,730
3. 通 信 費	30,000	20,000
4. 事 務 費	50,000	31,000
5. 教育後援会	50,000	50,000
6. 出張費	100,000	60,990
7. 積立金	150,000	150,000
8. 雑 費	41,797	37,175
合 計	2,158,797	2,027,945

新しい飛躍をめざして

— 泉工六十周年を機に —

学校長 藤 倉 文 夫



○昭和五十七年という年

この年には本校も創立六十周年を迎えます。この記念すべき年は本校にとって画期的な二つのことに合致する年でもあります。

一つには、高等学校の新しい教育課程の実施がスタートする年でもあります。

二つには、永年の懸案でありましたAC実習棟の改築実現の年でもあります。

建築面積 一三六五㎡
延床面積 五四六〇㎡

さらに、残された本館・体育館等の改築につきましても、その早期実現のふみ台にすべき年でもあります。

こうして、教育内容面からも施設・設備面からも、六十周年は、歴史と伝統に輝く泉尾工高が新しい時代に飛躍する絶好のチャンスであります。

昭和三十年代後半からの日本経済の高度成長にともなう高学歴指向の社会風潮のあおりを受けて、苦難の道をあゆんだ工業高校にもいくらか明るい日差しが見えてきたように思います。

つぎに、その要因と考えられることを挙げてみたいと思います。

○高学歴社会の状況変化

戦前には大学・工專等の高等教育機関へ進む者は、三十人に一人にすぎませんでした。それが昭和四十九年には三人に一人以上が大

学・短大に進むまでに急増しました。ところが最近数年は、大学・短大への進学率は三七%前後で横ばいの

状況がつついています。これに対し専修学校への進学者が増加する傾向にあります。

このことは、学歴に対する社会の考え方が徐々に変わってきていると考えられます。その状況変化について昭和五十五年度国民生活白書ではつぎのような点をあげています。

「以前の高学歴者の多くは①ホワイトカラー的な労働に従事し、②より多くの者が役職者になり、③学歴に応じた生涯所得を得るといったが、高水準の進学率が達成された今日ではそのような高学歴のメリットが徐々に薄れつつあり、就業した後も競争社会を通過しない限り有利な地位や所得が得られる保証はなくなつてきているといえよう。」

と述べ(教育費支出の推移)・(小さくなる高学歴メリット)・(大学・短大進学率の停滞)・(高等教育の多様化)などについて具体的な数字を挙げて考察しております。

また中学校の校長の中にも普通高校偏重の反省をもとに、適性のある者を工業高校にすすめたいという意向が聞かれるようになってきました。

○工業高校の見直し気運

なほ、工業高校を卒業したとえば、ここ十数年の間に世界の先進国に追いつき追い越した産業界において、新技術開発の第一線で世界的な新製品を生み出した技術者たちは、かならずしも高学歴とはいえない面があり、工業高校出身も多

いことが指摘されております。(内橋著・匠の時代)

また中学校の校長の中にも普通高校偏重の反省をもとに、適性のある者を工業高校にすすめたいという意向が聞かれるようになってきました。

なほ、工業高校を卒業した

た

柴田氏の提案

柴田淳志氏(D7)より提案があります。このころ学校長宛に60周年記念事業の一環として、本校の教育方針とその歴史を広く全国にPRする方策と実現までのステップが示され、審議依頼のありがたいご提案をいただきありがとうございます。

その中に「泉工60年の歩み」写真展の開催のご協力をお願いします。

〔積立金会計〕

項目	金額
前年度金	2,342,362
繰越金	123,511
預金利息	150,000
積立金	
合計	2,615,873

(次年度へ繰越)

東京支部総会(5/30)
卒業生を囲む会(6/25)
会報発行(7/5)
総会(7/19)

●56年度役員

- 会長 長野蘭藏氏(C4)
- 副会長 布谷伊光氏(S4)
- 山下文雄氏(D16)
- 黒田 豊氏(C17)
- 清水博司氏(A17)
- 西井正博氏(M18)
- 河端 保氏(E4)

◆55年度 事業報告

- 常任理事会(4/28・7/17・12/3)
- 役員・理事会(5/22)

◆56年度 事業計画

- 常任理事会(4/28・5/21・7/15・12/18)
- 役員・理事会(5/22)
- 東京支部総会(5/29)
- 卒業生を囲む会(6/23)
- 会報発行(7/4)
- 総会(7/17)

て、さらに大学を志向する者にとって、国公立を含めて、推せん入学の制度をとる大学が増加しつつあることも明るい状況といえます。

このように、かつて地盤沈下を余儀なくされていた工業高校の価値が世に見直される気運があらわれてきたことは喜ばしいことであると思えます。

世間のこの期待にこたえ

るためには、新しい時代にふさわしい教育内容の創造と施設・設備面の充実をい

つそう推進してゆくことが大切であろうと思えます。

冒頭に述べたように、泉工六十周年を大いなる躍進の機とするよう努力してまいります。

白水会の皆様にはどうか絶大なご支援とご鞭撻をたまわりますようお願い申し上げます。

会計監査報告
昭和55年度大阪白水会会計を監査したところ、使途は適正であり、会計帳簿、預金通帳の記載は正確であったことを認めます。
会計監査 福原初男 榎平岡利隆

職員の移動

◇お送りした先生◇

◎前田昌男先生

昭和四十六年四月生野工高から着任以来十年、保健体育担当として、また生活指導課長として、精力的にご活躍されました。遅刻生徒の指導、クラブ活動を確保するための教員の当番制生指導によりの新聞発行等

先生の足跡は大きなものがあります。此度、此花工高の教頭として転勤されました。◎柴原徳彰先生

昭和三十六年五月から国語科担当として、二十年間教鞭をとって来られました。また、教務課長として、学校運営に手腕を発揮されましたが、特に修学旅行を観光旅行からスキー研修旅行へ大転換の首頭を取られたのも先生でした。



温厚でメリハリのきいた授業は、大変生徒達に好評でした。此度、東淀工高へ転勤されました。◎瓜生泰司先生

昭和三十八年四月着任以来十八年の永きに亘って、工業化学科担当として、御活躍されました。特に柔道部の顧問として各種大会に出場され、優秀な成績を挙げられました。

本校の廃水処理については、第一人者であり、殊に工業化学科の廃水処理は、一手に引き受けて活躍されました。此度、東淀工高へ転勤されました。

◎藤井浩毅先生
此花工高から転勤して来られて四年間、機械科職員として担任、そして教務課でも活躍されました。人柄は温厚、沈着で、教育に一倍の熱心さで対応されておりました。

製図については、実業界での経験を活かした、独特の指導法で当たられ、製図学会でも研究発表を再々行なわれた実践者でありました。

◎岩下洋一先生
昭和四十二年四月都島工高から着任以来、工業化学科担当として十四年間、熱心に御指導をいたいただきました。特に、運進生徒の指導には工夫を凝らし、

此の度、市立東淀工高の機械科へ転出されましたが益々、御活躍されん事を祈っております。

◎宮代典子先生 (色染工業科)
昭和五十三年十一月から昨年の暮れまでD科実習助手として御指導を頂きました。此度、御結婚のため退職されました。

◎辻 明美先生
昭和五十三年四月に着任されて三年の間、英語の先生として、生徒達にとってよき姉として、何事にもよく相談にのり、本校では男性の先生が多い中で、女性の先生でなければできないきめ細かい指導と心ずかいを發揮していただき、本年西商にご転勤されました。

◎岡田直樹先生
昭和五十五年四月より一年間、期限付講師として、英語科の指導にあたられました。新卒で若さに溢れた授業は、生徒たちの若い感覚によく適合し、熱心な指導に食いついていく生徒の姿が印象的でした。

◎樋口真一郎さん
管理作業員として昭和四十四年六月から約十二年頑張ってこられました。健康上の都合で此度、退職されました。

◎久野祐滋先生 (工業化学科)
都島工高からお迎えした温厚篤実なベテラン先生。◎和歌崎信夫先生 (工業化学科)
此花工高からお迎えしたスポーツ万能のバイタリテイあふれた先生です。

◎乾 徹也先生 (機械科)
藤井浩毅先生の後任として此花工高からお迎えしましたベテラン先生です。

◎福本雅之先生 (英語)
今春都留文化大学を卒業された弓道四段の新進気鋭です。

◎芦田隆治先生 (保健)
日本体育大学を今年卒業されたバイタリテイを誇るピカピカの先生。

◎村上雅子先生 (国語)
大阪府立女子大学を卒業された才媛です。

◎三輪弘美先生 (英語)
今春専門学校を卒業された才媛です。

◎宇佐見信恵先生 (色染工業科)
旧姓宮代典子先生の後任として着任された色染工業

科昭和五十三年卒のOG。 山田耕治先生 (地理) 村尾勝雄先生 (電気製図) 三好理律先生 (数学) 有澤富男先生 (英語) 安江美幸先生 (体育) 以上の先生方に今年は非常勤講師をお願いしております。

◇お迎えした先生◇

◇宿泊オリエンテーション
新一年生を対象に四月十日から二泊三日で、大阪府立青少年海洋センターで合宿研修を行い無事終了致しました。

◇卒業生を囲む会
別掲のように例年通り六月二十三日 (S科は六月十七日) 実施の予定です。

卒業生の皆様には、お元気でご活躍のこと存じます。平素は繊維工業科のため公私ともにご尽力を賜わり、また白水会発展のため多大の会費ご納入をいただき厚くお礼申し上げます。

繊維工業科は女子が大多数を占めておりましたが、近年男子が次第に増加の傾向で、現在、三年生十四名二年生十三名、一年生十八名と在籍生徒の約半数に変化してまいりました。

昨年度までは男子生徒の就職をお見送り願っておりましたが、この現状から、今後は何卒繊維関係の男子に適応する職種の人材についてよりよく配慮いただきようをお願い申し上げます。

十月三十日 (金)、今年度はAC棟建築中ですので、校庭が使用できず、北隣りの泉尾グラウンドで実施予定になっております。

◇文化祭
十一月二十二日 (日)、全校参加を目指して実施の予定であります。

◇スキー研修旅行
二月一日から五日まで、北志賀高原、竜王スキー場で二年生全員が参加して、実施の予定です。

繊維工業科だより

繊維工業科職員辻村、米田、市原、川島、里崎、増成、水谷、木原、一同元気で生徒の質向上への努力を重ねております。

実習内容も生産実習を主

体にして創造性をたかめ、勤労観を身につけさせ、時代に即応したコンピュータへの取り組みを強化しております。本年度は二十六名が卒業し別記の会社に就

色染工業科だより

○ 本年春の男子入学希望者は、昨年に続いて2ケタありましたが、入学者はおしくも8名にとどまりました。しかし、1〜3年全体では22% (23名) と、ひと頃にくらべて漸増の傾向にあります。

○ 本年の卒業生は30名 (うち男2名) でした。くわしい進路状況は別掲の通りですが、色染工業科で勉強したことに直接関係のある分野に就職した者は、15名にとどまりました。

とは言え、卒業生各位には何かと御協力賜わりました事を、紙上をかりましてお礼申し上げます。

○ 来年度より高校の教育課程が改訂されますが、それにもない色染工業科での教育内容も従来とは多少ちがったものになりそうです。具体的には、現在検討中ですが、例えば色染工業科での教育内容が繊維等の染色が中心であったのが、

職いたしました。先輩の方々にお世話になっていることと思えます。どうかよろしくご指導の程お願い申し上げます。

プラスチック・金属を含めたあらゆる素材の染色にまで広がっております。また、女子が多数在籍している場合には、「家庭一般」を履習させることになりました。

○ さて、53年11月より実習及び生活指導の担当として生徒の指導にあたってこられました宮代典子先生には、御結婚のため昨年末をもって御退職なされました。

後任として、本年4月より、宇佐見信恵先生が勤務されております。

宇佐見先生は、53年に本校色染工業科卒業、三菱化成工業大阪支店の試験室に勤務されておりました。今年4月から色染工業科に勤務しております。53年卒業の宇佐見信恵です。卒業してから3年間、三菱化成の試験室に勤めており、学校へもよく遊びに来



たのですが、まさか学校へ戻ってくるとは思っていませんでした。しかし早いもので、もう勤め出してから約3カ月、もう何年も勤めていこうな気がします。やはりこの卒業生でありほとんどの先生方を知っているからだと思えます。顔を合わせるたびに、声をかけていただき「宇佐見さんの在学中は……」などと言われ、なんたかうれ

窯業科だより

泉黨会員の皆様は本年度も科だよりを、お伝え致します。

別掲の通り、窯業科もやっと一期工事として、新しい実習場が建つことになり現在基礎工事が進んでおります。古い建物もそのうちになくなることでしょうか、今はまた昔のままで、教員のスタッフも変わりなく、一同元気で頑張っております。なお、山中先生、佐藤先



生及び旧職の教本先生が、も科だよりを、お伝え致します。

しいような、はずかしいような感じですか。はずかしいといえは学校へ来てからは先生方や生徒から「宇佐見先生」と呼ばれ、始めのうちは「誰のことかな？」と考えたものですが、最近では輩々と(自分で思っているだけなのですが)してききました。が、さて実習となりますと、何年前か前に自分で書いたレポートを出してきたり、プリントを見たりして、四苦八苦しております。

元気が取柄の私ですが、一生懸命頑張っておりますのでこれからもよろしくお願致します。

工業化学科だより

卒業生のみなさんお元気で日々活躍のことと存じ上げます。

今年も五六名の卒業生が社会へ働き、先輩諸氏の仲間入りをしましたので、よろしく御指導下さいませようお願致します。

工業化学科の先生方は、みなさんお元気で生徒の指導に甚力いただいているわけですが、今年、瓜生先生が東淀工高へ、岩下先生が都島第二工高へ転勤なさいました。

瓜生先生は十八年、岩下先生は十四年間の長きに亘って工業化学科の生徒の育成に御苦労いただき、まことに感謝に耐えませんが、惜別の念、禁じ得ないところですが、両先生の今後の発展をお祈りしお送りいたします。瓜生、岩下両先生の後任

このたび窯業協会より教育功績者として表彰されました。最後にになりましたが、本年の卒業生二十九名、別掲の通り就職に進学に果立ちました。新しい泉黨会員です。よろしく御指導下さい。(写真はテンセラ会の皆さん)

楽しまれたのち、次の宴会場にいられました。最後にになりましたが、本年の卒業生二十九名、別掲の通り就職に進学に果立ちました。新しい泉黨会員です。よろしく御指導下さい。(写真はテンセラ会の皆さん)

として、久野祐滋先生(都島工より)和歌崎信夫先生(此花工より)が、工業化学科へ着任されました。両先生共ベテラン先生であられますので心強い限りです。いよいよ待ちに待った工業化学科の棟舎改築工事が始まりました。今抗打ちの基礎工事が終わった所です。場所は、本館横で校庭の南側です。四階建て来年三月の完工にさうです。新棟舎が完成すれば六十周年にも一層の花を供えるものと思われまます。



化学機械科だより

卒業生の皆さんには、お元気で益々御活躍のことと存じます。

当科では五十四年度より機械科と科名変更後従来の化学機械科と機械科の教育課程がありました。が、本年度より名実共第一学年より第三学年迄機械科の教育課程となりました。従って従来先方が修得された化工の実習や座学がなくなり、電気の基礎的実験実習や電算機実習、原動機や工作の座学の時間数が増えました。実習内容、施設設備等々まだまだ充実をはかり、又五十七年度より実施される新教育課程への移行と言う問題もあり機械科として恥しないよう内容と特徴をもったものとして成長し地域社会の要求にも応じられるべく職員一同研究努力しております。

本年春果実立った卒業生にとって就職は昨年同様不況の続く中、きびしいものでしたが、先輩各位の御支援御配慮のお蔭で全員それぞれ進路を決定し、卒業することが出来ましたこと職員一同喜んでおります。今後とも困難な状況が続くことか

と思われれます。在校生の努力と決意は当然ですが先輩諸氏の御支援御指導の程お願い致します。

さて藤井浩毅先生は、五十二年より五十六年三月まで四年間色々科の為に努力して頂きましたが今年度より東淀工高の方へ転勤されました後任に新しい先生をお迎え致しましたので次に御紹介致します。



乾徹也先生(三十八才)

先生は四十一年に横浜国立大学工業教員養成所を御卒業後此花工業高校機械科に勤務されて十六年間生徒指導に当たって来られました。此度本校機械科へ着任されました。明るく健康で端正な先生で熱心に教育活動にあたり、又スポーツマンとしてサッカーやテニスにも通じて居られます。機械科にとって申すまでもなく先生をお迎え出来ましたことと大変喜んでおります。

共に今後一層御活躍下さることと思ひます。六月下旬には恒例の卒業生を囲む会があり先輩多数の出席を戴き、在校生に對し今後の進路選定するに

電気科だより

電気科では此の一年間特に変わったことはありません。ただ専門の電気技術に對する知識・技能の修得に生徒が積極的になり向かう一つの方法として、今年度二年生から全員「電気工士

免許試験」受験にとり組んでおり、先生・生徒一体となつてがんばつております。

筆記試験は六月二十八日に実施されますが、多数の合格者が出てくれることを願つております。

生活指導上から見た生徒の現状

最近の高校での学園紛争の一つとして、髪形や服装規制の問題が大きくクローズアップしてきている。

前年度につき、本年度も本校生活指導の重点として、「基本的な生活習慣の確立」を中心に、「生活規律」の指導を推進すること

が決つた。頭髮や服装指導は生徒指導の基本をなすものとして、それが強く求められて居るのである。

最近の世相を反映してはいかない。

当り有益な経験談を拝聴させていただくことが出来ました。今後とも宜しく御指導下さいます様お願い致します。

この面での指導に当たっては、生徒が心底では悪いと感じている場合が多く、教師側が絶えず生徒へのアプローチをつづけ、心の通ひ合った中での根気強い、一貫性のある指導が求められる。

先日ある会合で、先輩の一卒業生から、最近の泉工生に学生らしきの失われて居ることを嘆かれて、教師

母校60周年記念事業募金達成のために私共は全力をつくそう!

各年度科別の皆様方にも一層のお力添えを期待しております

昭 四 会

(布谷・飯田・奥川・長野・佐々木)

こうした問題が単なる個人的趣向としてすまされない理由は、集団生活の中の学びの姿勢が乱れると共に、学習面での集中力を欠き、さらには学力の低下へと連なっていくからである。その他非行を含めた問題行動との関係も見逃せない。

この面での指導に当たっては、生徒が心底では悪いと感じている場合が多く、教師側が絶えず生徒へのアプローチをつづけ、心の通ひ合った中での根気強い、一貫性のある指導が求められる。

先日ある会合で、先輩の一卒業生から、最近の泉工生に学生らしきの失われて居ることを嘆かれて、教師

側には叱咤激励のお言葉をいただいたが、学校のある同じ大正区に永年住まわれ、生徒の実態とその移り変りを身近かに見聞されてのご指摘で、身の引締る思いと同時に生徒指導への新たな決意を与えられた。

本来家庭での「しつけの側面」の問題も今日ではそれらを学校が荷わなくてはならず、それでも頭髮や服装指導は学校だけにおいてできるものでなく、保護者をはじめ、先輩諸氏のご協力を得なければならぬものではあります。そして、さらに伝統のある泉工の校風を築いていかなければなりません。

(生活指導課長 沢井 厚)

「八百数十社から求人」

高かった合格率

卒業生の皆様、お元気で御活躍の事と存じます。さて、今春も下記の様に二百六十七名の生徒が本校を巣立って行きました。昨年度の求人件数は八百数十社におよび、求人延人員は二千人以上でした。これは一昨年度より相当数の増加でした。昨年十月から始まりました第一回目の就職試験の合格率は近年になく高率で十一月には大半の者が就職先を内定しました。一方、大学進学者は昨年十二月に実施されました推薦入学試験で大半の者が合格しました。(総務指導課長 大平勝彦)

就職者	181	男女	計
大学学部	8	0	39
短期大学	4	1	5
盲聾養護学校	1	0	1
専修学校	2	1	3
各種学校	4	0	4
公共職業訓練校	1	0	1
無業者	14	11	25

無業者には、予備校生、浪人も含む

▼繊維工業科
岡田 真司

トナミ運輸 竹之下信義
御和宏商會 阿比留秀見
山田化成 梅田ひとみ
日本紡績検査協会
岸本 直美
御和宏商會 北岡 啓子
ユニチカケミカル 木村 清美
化繊検査協会 郷原美智子
森六商事 下山 慎子
カネタニ 辻本 雅美
横山精工 日野 菊美
倉敷紡績 樋上 千鶴
七和 藤山恵美子
日本紡績検査協会 牧角由美子
広島 松井 美佳
三木商店 松岡 美保
三愛 三宅 一江
資生堂 向井 紀子
白宮 中村千江美
◎家事家業 奥田ユミ子
竹島 順子

三菱化成工業 大北 啓子
大阪かねてつ食品 太田マサ子
敷島紡績 奥野ひろみ
日本紡績検査協会 小西加代子
塩野製菓 白石 栄子
タカケンサンシャイン 白山 一美
森六商事 鈴木 昭代
丸松 堂迫あゆみ
三協石油 堂用 泰子
三起鉄工所 中林由美子
三共大阪工場 中村千恵子
御西野商店 中山 純子
御加藤商店 山口 尚子
田辺製菓 西村久美子
日立造船機務島工場 延本 吉徳
バイエルジャパン 浜元真由美
福徳産業 藤元 由喜
ユニチカケミカル 松田 佳子
御パイオニヤコンサルタン ト 真鍋 卓也
保十谷化学工業 真辺美智江
住友化学工業 森崎 幸子
飯田織工 吉田 千浪
◎家事家業 今田 裕子
大石 文代
萬 広子

◎進学者
四條誠学園短期大学 米田 春江
アナウンスタレント養成所 宮田 春代
谷口 美鈴
▼窯業科
日本化学陶業 岩崎武紫
日本無機繊維工業 上田 雄三
大島印刷 植松 正治
アサヒネット工業 アサヒネット 浦野 豊
大商硝子 海士 晴喜
大商硝子 金城 忠
レイズエンジンエアリング 日本セメント 金田 光男
日本セメント トヨタビスタ大阪 北川賢太郎
アサヒ衛陶 黒田 和彦
奥野製菓工業 古賀 光和
平岡特殊硝子製作 近藤 繁樹
日本セメント 白井 明彦
ミノルタカメラ 宝木 陽一
日本セメント 武 敦行
大阪標工 辻 輝久
トナミ運輸 辻生 信行
陸上自衛隊 野島 清治
協和印刷 松尾 進
泉陽光学 松田 義弘

梅鉢工業 宮廻 勝也
東洋ガラス 桃宇 明
中山製鋼所 用元 通春
松浪硝子 吉野 満夫
就職予定者 田淵 徳明
三沼 成重
自営 金城 勉
◎進学者 大阪経済法科大学 鶴川 充裕
浪速美術短期大学 大黒 秀起
新大阪徳科技工士学院 阪田 豊広
▼工業化学科
日本メジフィジックス 市原 秀昭
扶桑化学 糸賀 康明
西森自動車工業 大川 剛
扶桑真 加藤 祐治
日本設置工業 岐浦 和彦
関西電力 黒木 俊文
日本化学洗剤 下倉 武
住江織物 杉本 和人
荒川化学工業 高島 隆志
御日生化学工業所 田中 一弘
東洋紙業 谷口 幸延
共栄油脂化学工業 戸田 新八
ダイキン工業 友寄 尚彦
東洋ガラス 中村 浩二
吉川工業 名古屋支店 東邦油脂 三樹 将

二口 龍夫
御青徳山荘 浜口敏一郎
トヨタコロラ南海 林 丈夫
川上塗料 原 正和
大東化学工業 原田 智文
三寶伸銅工業 福島 秀彦
近藤精肉店 福田 弘宣
東洋アルミ 八尾製造所 藤原 健次
鐘紡合成化学 峯松 賢治
中華料理「珉珉」 三原 昇彦
ミリオン化学 山本 昭
日立造船 吉川 弘晃
大阪日産自動車 渡辺 光夫
大阪テクニウム 伊藤 信久
象印マホービン 岡本 勝之
安達新産業 小川 欽也
御ミドリ十字 木船 明浩
御寺崎電機製作所 南村 哲治
ルート製菓 近藤 重子
田崎真珠 坂上 信行
武田薬品工業 崎浜 秀邦
大門三恵子
倉敷紡績 武田 浩徳
帝國化工 武田 雅彦
東邦油脂 野口 豊一
東邦油脂 三樹 将

天王寺予備校 尾崎 巡子
西川 千昭
看護専修学校

◎進学者
辻調理師学校 萩原 大祐
大阪府立堺高等学校専攻科 福永 憲彰
大阪府立弘済院附属病院 看護専修学校

◎進学者
日本セメント 武 敦行
大阪標工 辻 輝久
トナミ運輸 辻生 信行
陸上自衛隊 野島 清治
協和印刷 松尾 進
泉陽光学 松田 義弘

◎進学者
大阪経済法科大学 鶴川 充裕
浪速美術短期大学 大黒 秀起
新大阪徳科技工士学院 阪田 豊広

◎進学者
武田薬品工業 崎浜 秀邦
大門三恵子
倉敷紡績 武田 浩徳
帝國化工 武田 雅彦
東邦油脂 野口 豊一
東邦油脂 三樹 将

自衛隊(海上)部 日本紡績検査協会 大阪チタニウム株 サロンドボーテヤスコ美容 自営 塗装業 ◎進学者 大阪経済法科大学 大阪産業大学 大阪芸術大学 函館大学 日本調理師専門学校 若羽調理専門学校 職業訓練校	有村 詔一 志岐 正一 市原 広一 内田 裕夫 岩田 猛 竹下 和仁 大城 幸成 岡本 昌和 高槻ダイカスト株 河内 幸治 日本技術株 合田 和弘 いすずオートハナテン 自動車整備株 河野 一也 トヨタビスタ南海株 小西 俊雄 榎川本製作所 竹田 裕一	榎竹中製作所 大阪トヨタフォークリフト 日立造船株 不二印刷株 鈴木合金株 近畿車輛株 錦椿本モータース 濱口 浩 濱吉 雅俊 平山 武善 日産プリンス大阪販売株 農 幹雄 山里 晃久 本田技研工業株 横井 保志 大阪ニチソウメンテナンス株 小松 潤一 日本化学技術株 荒田 信行 日立造船株 井上 信明 前日商機械 上原 智 東京スバル自動車株 遠藤 善政 大阪有線放送 梅根 昭彦 高槻ダイカスト株 酒本 一徳 彌栄工業株 鮫島 博文 実業工業株 竹川 正之 藤原 勝宏 阪神エンジニアリング株 辻 一也 日本ガスエンジニアリング株 寺嶋 圭一 旭商事株 中村 勝巳 松質特機販売株 長利 孝行 非破壊検査株 西澤 昭仁 大阪トヨペット株 船起 洋二 特恵美須屋工具製作所	増 貞雄 松橋 鉄男 岩井機械工業株 水野 正男 錦渡辺金属製作所 南出 尚也 榎栗本鉄工所 森岡 優造 シャープ株 山本 慶隆 上野精器株 与那嶺敏嗣 日産サニー大阪販売株 米田 敏弘 内外カーボン紙株 小山 美善 佐々木勇三 濱口 勝年 ◎進学者 八代学院大学 藤原 正幸 三菱自動車整備専門学校 比嘉 泰之 松尾 勇人 久志 幸征 山田 義春 就職予定 児島 隆幸 辻本 憲二 渡辺 栄二 家弓 勝行 東 正昭 真山 尚重 近畿日本鉄道株 伊藤 和浩 池田 義人 立石 恭三 ニッタン株 稲福 政勇 敷島紡績株 妹背 敏明 電信電話公社 岩本 敏哉 高野 隆 山本 英雄 上田 光明 宮前 寿美 関西電力株 山田 英雄 三菱電機株 山上 登 日阪製作所株 山口 晴教 南海電鉄株 和田 省三 国際電信電話株 石井 征人 日産プリンス大阪販売株 植田 弘一	三洋電機株 日本国有鉄道 シャープ株 大阪市交通局 関電阪急商事株 キャノン販売株 協栄電設株 大阪トヨタ自動車株 協和電気興業株 新日本工機株 寺崎電機株 福本 和宏 松本 隆 藤田 直樹 斎藤精機 藤武 弘 松下電器産業株 本間 秀信 堀之内幹二 日本アイシーエス株 植 哲男 シャープ近畿サービス株 松原 憲司 山根 浩之 大音設計工務株 美ノ上厚志 中山製鋼株 森岡 志朗 扶洋メンテナンス株 森田二三郎 三友電機株 山上 登 日阪製作所株 山口 晴教 南海電鉄株 和田 省三 国際電信電話株 石井 征人 日産プリンス大阪販売株 植田 弘一	セーラー万年筆株 大谷 幸博 リコー電子技術株 大久田浩志 特経営システム研究所 奥本 健二 富士電子機工株 粕原 浩光 木田 達也 新東電気工事株 児玉 誠次 近畿環境サービス株 小松 弘志 鶴ビケン 新谷 雅司 田中 祥介 田村 秀信 三洋電機大阪サービス株 中地 貴久 第一種元素化学工業株 仲村 清進 塩野義製薬株 中家 学 トヨタオート大阪株 濱本 哲雄 近畿輸送倉庫株 森中 隆司 日本水処理工業株 山中 昇 山田漬物店 山本 幸治 山崎 康雄 ◎進学者 浪速短期大学 安達 彰文 大阪工大短期大学 田中 雅史 徳之
--	--	--	--	---	---

鷺 州 やまが 政雄

木内 政雄 (C33平)

大阪市福島区鷺洲2丁目15-33

TEL. 458-5819

転任のご挨拶

国語科 柴原 徳彰
(元教務課長)



泉尾工高は全く面目を一新することになります。六十年間、打ち続いている鼓動が、今また一段と大きく響いてくるような気がします。

早いもので、泉尾工高にお世話になって、十九年十一月になりまして、今度縁あって、東淀工高に転動することになりました。こちらは創立後二十余年、比較的清新な、しかも広大な校地(泉尾工高に比べて)にがっちりまとまっていた学校です。現在は図書館に籍を置いて、国語の授業を受けています。

二十年前、泉尾に赴任した時にはコンクリートの校舎に囲まれた木造校舎がありました。その一隅には職員が寝る部屋さえあり、体育の団野先生や英語の太田先生が住んでおられました。その西側には陸壇のような大窪場あり、運動場と校舎の大きな衝突に悩んでおりました。雲をつく様な巨大な煙突も立っていました。その煙突科も、今や新しく建て替えられようとしており、これを最後

ご挨拶

体育科 前田 昌男
(元生活指導課長)



会員の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

私この四月の移動で大阪市立此花工業高等学校教頭として転動になりました。昭和四十六年より十年間、会員でもある先生方が多数おられる泉尾工業高等学校

ご挨拶

工業化学科 瓜生 泰司



新任教師として、昭和38年4月、泉尾工業高等学校に赴任し、18年間、色々な先生方にお会いし、色々な出来事に逢ったように思われます。初めの2年間は、生徒指

で随分お世話になり、伝統と誇りをもつという言葉の重みを感じさせられました。

現在生徒指導の難しさの中で、泉尾工業高等学校の先生方は統一した理解のもと、一丸となり必死にその指導にあたりておられます。私は昭和五十年以来六年間、生活指導のしごとをやらせていただきました。先生方の絶大なご協力を得てこの間、単車指導・運動指導・服装指導・ク

導に、また生徒の気質に対応することに無我夢中...。3年目ようやく担任。自分のクラスの運営について、先輩の諸先生方に教えられながら、自分なりのクラス作りの毎日。困った時も多かった。出張中の生徒事故、家出生徒の家庭訪問、クラブ(柔道部)生徒の非行等々すべてに一生懸命。この苦しい思い出、これが私には楽しい思い出になって、泉尾生、

ラフ管理指導など、現在の生徒に基本的な生活習慣を身につけさせる問題を取りあげ先生方の熱心な指導もあり一応体制の確立に全力を注ぎました。しかしながらまだまだ問題を残しております。

このような生徒の実態を過去毎年、この会報に記載し会員の皆様方に対し、先生方の努力によって伝統ある泉尾工業高等学校が築かれておりました。が、今回の転動でこのようなお別れの挨拶にならざるに、また多くの教訓を得て、また思出多い泉尾工業高等学校を去ることは非常に残念で

泉尾の気質と結びつく。私なりの考えかもしれないが、何かこの中にある、例えば素直な反面「ガン」としてゆずらない気性の生徒 etc...。そんな、なんともいえない泉尾があった。それも卒業生との出逢いの中で感じ取ったようです。今も元気がなく...が思い出されます。

来年は創立六〇周年の記念となる年でもあり、藤倉校長・吉倉教頭はじめ諸先生方により立派に遂行され、更に発展されることと思っております。どうか会員の皆様方のご支援をいただきますようお願い申し上げます。

末尾ながら泉尾工業高等学校のご発展と、会員の皆様の今後のますますのご健勝をお祈り申し上げます。としての仕事なのかと反問することもありました。しかし、こんなことを考えながら、18年間が瞬時のごとく過ぎたようです。

色んな要素、教え、から自分なりの泉尾での「心」。「情」ができ上り、教師としての生活を自分のベースでと思った時に転任、やはり心が泉尾に残ります。今では泉尾での自分勝手な御託が、泉尾工業での良い面を十分に生かして、生徒指導に、先生方との交際に役立てたいと思っております。最後に泉尾工業高校の発展と先生方の御健康を心よりお祈り致します。

白水会 東京支部総会

五月二十九日たそがれどき、九段会館で恒例の支部総会が開催された。年々支部会員が増加、現在約二百名で、当日四十名の参加で泉工一色の老若和合の盛会となった。ご活躍の山下支



部長(A7)がご勇退になり顧問に就任。大都城康雄氏(A12)が支部長、福田耕頭氏(A12)が副支部長に就任された。支部発展のためご尽力された山下氏に感謝の意が表され、記念品の贈呈のあと、新支部長のあいさつ、藤倉校長より学校の現況、60周年記念事業への構想が述べられ、続いて長野会長より記念募金への強力な支援を呼びかけられた。

母校と支部の発展を願って乾盃のあと、自己紹介、近況報告、恒例の各自持ちよりの福引き、山口(A4)ご夫婦の仲睦まじいダンスの披露、新旧校歌の大合唱、大道軒事の心にひびく閉会のことはで来年の再会を約して散会。

「形は心をつくり、心は形を進める」と言われるが、白水会を育てよう、後輩を育てようとする姿は、年々支部の隆盛を見、心を打たれた次第である。60周年記念事業募金への並々ならぬ熱意に感謝し、本部発展への努力を重ねなければと心を引き締め会場をあとにした。

支部会員の方々、お世話になりました。厚くお礼申し上げます。

(常任理事長 辻村記)

色泉会

昨年7月25日、京橋・朝陽園において色泉会並びに新入会員歓迎会を開催いたしました。

今回の総会は、水田賢、西出家雄両先生をはじめ新・旧学校長、現色染工業科の先生を含めて74名の参加者があり、近來にない大きな

ものとなりました。会場にぎっしりと集まった参加者は、そこに輪をつくって、在学中の話や近況を語りあい、時のたつのを忘れる程でした。宴が最高潮に達したところで恒例の福引きを行いました。次の方々は、このために多数の福引き用品を提供していただきました。紙上を借りて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

- 水田賢先生 森 信也 11
- 山下文雄 16 岡崎弘男 17
- 宇井清久男 18 竹内照明 20
- 中沢輝男 28 大島邦男 29
- 小川 治 30 福井義人 30
- 小西美喜雄 31 塚口昌博 31
- 31条辺恵司 平岡利隆 31
- 森川圭介 31 黒川忠司 32
- 瀧本広之 32 大上正治 33
- 黒田一三 34 野村 勝 38
- 二見忠彦 38 山本健一 38
- 今西 昇 41 川島 昇 41



色染会総会

泉窯会

最後にりましたが、今回の会場の設営にあたりましては、岡崎弘男氏(17)に多大の御尽力をいただきました。ありがとうございます。

昨年の総会は、七月白水会の総会場で行なわれ、新しい会長として、C17卒の黒田豊氏(泉陽光学硝子株式会社)に決定しました。

久しく会長をされた長野蘭蔵氏は、白水会々長としてさらに活躍していただくことになり、その後の役員会や、来年度の母校六十周年をひかえ、若者にまげぬと張り切っておられます。

泉尾化学会

泉尾化学会役員会

開かれる！

六月二十四日、曾根崎・芦月で今年度の役員会を開催しました。母校・学校長藤倉先生、工業化学科長中尾先生の列席を得て、今年度化学会の事業について意見交換がなされました。特に母校創立六十周年記念事業については、母校および大阪白水会のすすめる諸事業に積極的に協力することを確認されました。会員諸氏におかれましても、是年

ご協力をお願い致します。また、泉尾化学会年会費納入状況は別掲のとおりですが、諸氏のご協力は年を経るに従いますますます大きくなって来ています。このご協力にむくいるため、この浄財を泉尾化学会会員名簿の整備と、コンピュータにプログラミングする費用に充当したいと考えています。

泉尾化学会 昭和55年度決算報告

収入の部	繰越金	278,500.-
前年度繰越金(65名)	65,000.-	
入会金	150,835.-	
年会費	7,371.-	
貯蓄金	501,706.-	
支出の部		
総会費	106,520.-	
通信費	48,240.-	
事務費	8,900.-	
「卒業生を囲む会」	18,300.-	
協賛費	3,500.-	
弔計高	185,460.-	
残	316,246.-	

(次期へ繰越)

泉尾化学会年会費納入者名

(敬称略・到着順)

- △五五年度分▽
一、〇〇〇円
- 31 徳井稔 22 大砂古登
 - 44 山登正夫 55 山本英喜
 - 10 有田正雄 8 滝崎巖
 - 34 田坂寛 35 鈴木昇 36 坂本善明 13 桜井吉明 13 松山雅隆 28 福林敏 5 長尾武男 38 東勉 33 西原隆司
 - 24 細川忠男 43 池田昭三
 - 13 田代憲輝 9 南彰 16 北村定 16 時松健次
 - 12 伊藤俊吾 29 浜口憲弘
 - 34 佐竹孝 28 岡田充弘
 - 28 福村吉晃 30 堀内健文
 - 5 宮崎邦三郎 11 井川英三
 - 30 田淵博己 37 高橋昭
 - 28 信塚貢 38 宇良宗章
 - 43 佐々木和則 13 吉村信二
 - 28 桑田進 39 根来利行
 - 5 西島徳太郎 39 椿井久
 - 28 塚谷俊介 30 中谷省二
 - 13 丸国孝 21 藤田寅雄
 - 11 水井淳治 17 清水博司
 - 24 川下勇 17 永田三郎
 - 44 倉沢光男 37 阪上剛三
 - 26 河田保 40 池田隆司
 - 44 豊島良次 40 久延義弘
 - 7 杉江正啓 18 境邦二
 - 42 久川道夫 39 浜野敏

後輩のために助言

「卒業生を囲む座談会」

六月二十三日午後から恒例の卒業生を囲む座談会が開催されました。次の方々には公私共に御多忙中にもかかわらず、後輩の進路決定のため有益な助言を与えていただきました。

- 34 徳久寿一氏 (永井染工株)
- 20 吉野政男氏 (色染工業科)
- 54 米田博美氏 (日紡績検査協会)
- 52 藤 美智子氏 (化繊検査協会)
- 51 長谷川保子氏 (薬科衛生士)
- 42 木内利雄氏 (大成空調エンジニアリング)
- 35 永田元宏氏 (東和織物株)
- 15 高橋誠一郎氏 (東洋商事株)
- 55 浜名幸世氏 (日本紡績検査協会)
- 47 川崎高照氏 (窯業科)
- 47 木下和夫氏 (日本増場株)
- 51 奥田 宏氏 (日本フリット株)
- 54 関根一郎氏 (ハードグラス株)
- 41 池島幸雄氏 (ミノルタカメラ株)
- 31 池田耕治氏 (工業化学科)
- 44 池島幸雄氏 (玉理化学株)
- 56 大門三恵子さん (ロックペイント株)
- 56 市原秀昭氏 (武田薬品工業株)
- 54 中川 勇氏 (近畿シャープサービス株)
- 53 林 雅明氏 (東光精機株)
- 53 早川広志氏 (関電阪急商事株)
- 52 山本秀樹氏 (関西電力株)
- 51 瀬田 忠氏 (日本通信電話公社)
- 52 前原 均氏 (関西電力株)
- 47 青木 敏和氏 (大阪機工株)
- 44 武内 勇氏 (近畿日本鉄道株)
- 55 仲山英高氏 (日本化学技術株)
- 49 藤本隆之氏 (日立造船株大阪工場)
- 50 三好宏行氏 (日立造船株大阪工場)
- 48 久米章人氏 (任金溶接株)
- 47 藤高次男氏 (高槻ダイカスト株)
- 36 勇上和史氏 (日本化学技術株)
- 47 藤高次男氏 (高槻ダイカスト株)
- 48 久米章人氏 (任金溶接株)
- 49 藤本隆之氏 (日立造船株大阪工場)
- 50 三好宏行氏 (日立造船株大阪工場)

- 54 富松克次 9 中野幸雄
- 38 中尾章 32 長越俊之
- 4 山口繁一 14 小崎達
- 9 奥住謙一 大15 高松定雄
- 43 若林昇 33 本摩恒利
- 14 中原清治 18 大平隆章
- 36 荒谷正博 55 鶴田
- 36 林功 31 若松邦彦 32 渡
- 辺嘉郎 32 松井靖男 18 北
- 田章 15 石津茂男 39 野中
- 征夫 37 高瀬迪 20 大島龍
- 一 29 小合川毅 24 小久保
- 賢治 40 熊田俊夫 14 山田
- 武二 17 橋本博 28 小森雄
- 有 34 門脇二郎 5 大島節
- 衛 11 竹中利夫 41 馬場昭
- 光 大13 菊川康雄 16 合田
- 富美雄 32 尾崎誠悟 29 山
- 崎公三郎 17 川田一夫
- 12 酒村稔 7 玉嶋徳一
- 20 桑原一策 16 林幸一郎
- 17 横山幸男 11 西本久雄
- 10 八木吉太郎 18 岡本広高
- 9 高木貞次 28 丹羽富造
- 12 大都城康雄 10 齊藤一博
- 15 東野三郎 3 田邊新吉
- 5 立岡末雄 24 野辺晴美
- 34 大西弘一 28 南岡良尚
- 24 西田貞二 大13 浮田雄弘
- 16 松下幹夫 8 神林鉄五郎
- 35 寺田義彰
- 二、〇〇〇
- 36 一階栄一 4 佐々木義人
- 三、〇〇〇 20 藤本光成
- 一〇、〇〇〇
- 15 熊西清信

D46卒同窓会

幹事 少 路 謹 子

卒業して十年ノ 五回目
の同窓会。十年間一度も逢
っていない顔、なんとなく
不安な気持ち、また楽しい心
で近鉄・額田駅に降りまし
た。

四月二十六日(日曜日)
46年D科卒の同窓会、東大
阪「ひらおか山荘」です。

参加者は我等の尊敬する恩
師北川先生を筆頭に八名、
子供八名(一才〜七才)合
計十七名の子づれ同窓会で
す。私達のクラスは男性十
名、女性三十名で、女性の
九割は結婚して家庭を持っ
ております。

夜大事な夫を一人にして家
をあけることは出来ませ
ん。そこで子供を連れて夕
食の仕度までに帰宅する女
性中心の会合です。

そのせいか残念なことに
男性の参加者は非常に少な
くたった一名(H・N君に
は会計の赤字まで負担して
いただいで感謝しておりま



候に恵まれ予定どりの人
数が揃いました。

北川先生も、お忙しい中
おいで下さいましてほんと
うにたのしい一日でした。
どの顔も良い奥様、良い
お母さんになっておられ、

他の方から見れば、私もそ
う見えるのかなんて……。

みんなの顔がそろって食
事という事になりましたが
そのにぎやかなこと。泣く
子あり、走る子あり、おと
なしく食べる子あり、何を
食べたか、どこにはいった
か、わからないまま、早々
に食事を終え、枚岡公園一
枚岡駅にて解散。

(もっぱらこの間におしゃ
べりしました) どうしても
話題は家庭のこと、子供の
こと、主人のこと、十年前
の学生時代はどんな話をし
ていたのでしょうか。

北川先生には、少し若い
オジイチャンの役をしてい
ただき、私達の子供のお守
りで大変おつかれになった
ことと思います。

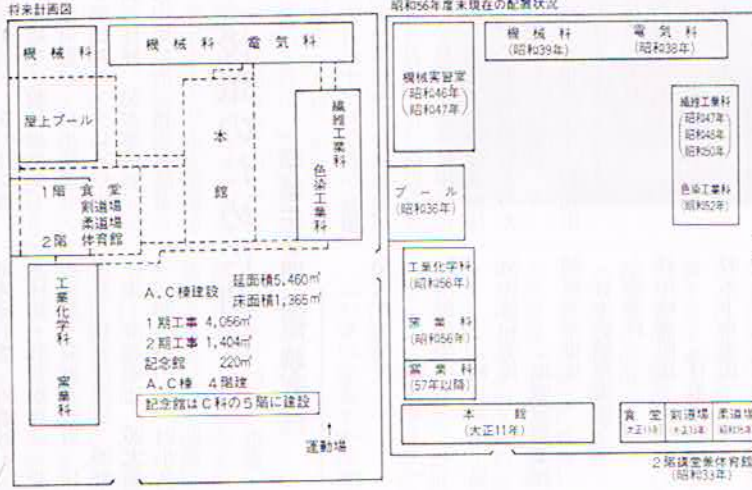
又来年も元気な顔でお目
にかかりたいと思いまし
た。その時には仕事や出
産、家事などで参加してい
ただけなかったみなさんと
も是非々々お逢い出来ませ
す。みなさんお疲れ様でし
た。

窯業科・工業化学科

新実習場の建設始まる

教頭 吉舎久雄

一昨年、学校では窯業科と工業化学科の建物の老朽化が激しいため、改築を計画しました。その際、校舎の配置が生徒の指導に与える影響が増大する傾向があるため、学校全体の改築計画があり、一期工事（工業



面の再検討をし、その一次改築計画としてA・C棟（窯業科、工業化学科）の改築計画を推進することにした。

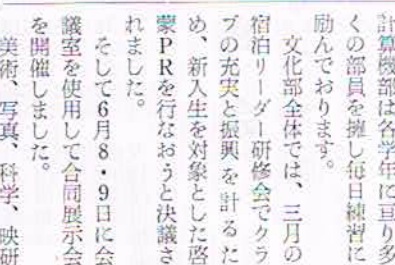
幸いに、昨年より改築の話があり、一期工事（工業化学科と窯業科）の改築計画がスタートした。この7月には、初登頂のニュースが報じられるものと、楽しみにしております。

昭和五十七年は創立六十周年の記念すべき年となります。泉尾工業高等学校が更に飛躍する年となるよう全体計画を推進したいと思っております。皆様方、母校発展のために、更に御支援下さいませようお願いします。

文化部の現況

卒業生の皆様、お元気でしょうか。在学中、文化クラブで活躍された方も多数おいでだと思います。短い文面ですが文化クラブの実情を紹介します。

ご承知の通り、部活動は授業中にはできない個人の興味、特技を生かし、うるおいのある学校生活を送ると共に、活動を通して友人



に比べ、入部者が増加しない悩みがあり、部員確保の為、種々対策を講じています。昨年実施したものに

大阪登壇倶楽部アンナブルナI登壇山隊の隊員として

一、生徒の意識調査
一、展示ケースの設置
一、魅力あるクラブの新設
一、魅力あるクラブの新設
一、魅力あるクラブの新設

一、展示ケースの設置
一、魅力あるクラブの新設
一、魅力あるクラブの新設

一、魅力あるクラブの新設
一、魅力あるクラブの新設
一、魅力あるクラブの新設

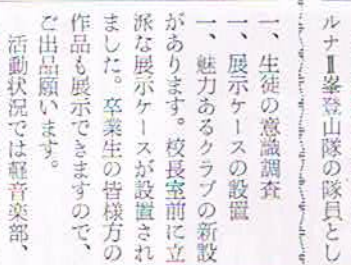
登山部

OB便り

登山部OBの活躍の一端を御紹介いたします。

○田畑幹夫（M41卒）
紫岳会のカラコルムの処女峰ソスンプラック（六四一三）登山隊の副隊長として5月28日、伊丹よりパキスタンに向け出発。

この7月には、初登頂のニュースが報じられるものと、楽しみにしております。



て8月中旬に出発の予定。アンナブルナI登壇（七、九三八）は、ネパールの古都ポカラの北方にそびえるアンナブルナ連峰第二の高峰で、北面は過去には登頂されているが、今回登頂を計画している南面の西稜の登頂は今まで成功をみておりません。

登山形式としては、ケーブル方式にしたいが無酸素による大多数の隊員の登頂を予定している。（10月中旬の予定）

茶道、陶芸、自動車、計算機、JRC、新聞、無線放送、文芸、折り紙、演劇、ESSが作品・パネル・ポスターを出し、ミニ文化祭的な雰囲気でも多くの生徒が訪れ好評を得ておりました。生徒達も文化クラブハウスがD科横に移転されたこともあり、新たに取組んで行こうと張り切っています。

今後は、秋の文化祭に焦点を合わせてより研鑽して行きますので、先輩各位、ご来校の節には是非クラブにもお立寄りいただきご指導、助言をお願いいたします。

文化部長
新 佐々木 公男



会員だより

母校に寄せられた会員の方々の近況をお知らせいたします。会費納入、住所変更などの機会にどしどしお便りをお送り下さい。

年金生活し、元氣回復。

S 12 山村 英夫

白水会報楽しく拝見しました。役員の皆様御苦労様です。

S 16 河江 繁康

本年6月1日付徳島県職員を退職(勸奨)。非常勤特別職員として引続き、県政広聴業務に従事しております。

S 16 渡部 孝

帝國繊維KKを定年退職後、関連子会社の役員として引続き勤務しております。

S 17 武藤 貴志

55年4月の異動により、直方土木事務所、ダム管理出張所長として勤務中。

S 18 藤川 一市

KK大阪ボイラー製作所住之江工場にて頑張っております。白水会報を読みながら、なつかしく昔を思い出して居ります。

S 34 松下 英雄

神戸税関より大阪税関出向(大阪空港勤務)。

S 37 富田 孝一
今年度、総会参加出来ませんが、元氣で働いています。

S 40 美馬 駿二

54年9月よりユニチカ株より轉三和電器製作所へ転職しました。

S 42 赤井 新治

転勤のため、55年6月12日、浦和へ来ました。

S 43 木村 春雄

西鉄航空に勤務して、8年目になります。

S 43 平田 一男

高槻市役所勤務。都市計画の仕事、阪急高架対策事業に専従しております。

S 43 夜久 好信

現在大阪府警察に籍をおき、堺北警察署において奉職しております。

S 44 宮崎 政義

同窓会は未だですか。卒業後11年、中村(ハゲ)先生を皆んなで開んでイジメよう、

S 45 岸本 康子

6月下旬に二人目の男子を産みました。これから毎日忙しくなりそうです。でも、若さで頑張ります。会報を読み、古稀の坂

登ればハルカ
白水の
流れ見おろす
今日のたのしさ
会の発展を祈っております。

白石先輩には、在学中の教科書・ノート類を資料として御寄贈いただいております。ありがとうございます。

福本長五郎
健康です。何の物思ふわずらわしい事もなく、感謝の日々を意義深かれと意識して楽しく過して居ます。

山川 繁夫
日々是好日の考へで、一日一日を水墨画に専念しています。唯勤務中は、職務に之と同じ程度の心で日々過せる事を慶んでいます。

田中 靖二
日本チバガイギー轉染料本部には、泉工色染卒業生は小生を含め4名、豊田杉山、沖元各氏それぞれ頑張っております。が、時代の流れか、業界が後進園の追上げて、染工場の縮小あるいは自主廃業が増えているのが、少し寂しく思っています。

野崎日出見
10年ぶりに我母校を訪ずれました。(56年2月)行方不明とうわさされていましたが、実際は東京へ転勤で行き、リッパに働いていました。

森崎 幸子
久しぶりの学校で、とてもなつかしかった。仕事を始めて一週間ともしんどいです。住友化学でコンビニーターでの測色をしています。いつでも仕事が沢山あります。ひまよりまして。

清水 剛
昨年十月十日体育功労賞知事賞本年四月二十八日全日本都市対抗バレーボール選手権第三十回記念功労賞受賞。

藤村 嘉夫
昭和五十三年六月から住吉公園内の大阪府住吉公園体育館に勤務して四年になります。七月一日から住之

色染科の先生も10年前とほとんど変わらず、みなさん元氣な様子で何よりだと思ひ安くなりました。

三河屋製菓轉勤務

松田 茂
この5月より、東加古川テニススクールの講師になりました。自分のしたいと思っていた事が出来て、最高です。

孫 李寅浩

しみじみと思ひ出させてくれます。皆様の御健康と誠意もる会報の発展を異国からお祈り申し上げます。

一九八〇年八月七日

益A・R・T一棟一〇七号

D 11 李 学柱

この度は祖父(李学柱)の高血圧での永眠をお知らせ致します。

白水会の皆様へ
白水会の御発展を衷心からお祈り致します。

定期的な韓国まで「白水会報」をお送り下さいまして永年有難と御座います。

定期的に韓国まで「白水会報」をお送り下さいまして永年有難と御座います。

定期的に韓国まで「白水会報」をお送り下さいまして永年有難と御座います。

定期的に韓国まで「白水会報」をお送り下さいまして永年有難と御座います。

定期的に韓国まで「白水会報」をお送り下さいまして永年有難と御座います。

定期的に韓国まで「白水会報」をお送り下さいまして永年有難と御座います。

江公園プールも担当。高校野球の方は連盟の監事を退任し、現在同連盟の顧問と評議員を委嘱されています。また、昭和五十三年から手がけました旧歩兵第五十三聯隊史作成のため編集委員の一人として協力、このほど完成いたしました。今、ほっとしているところです。皆様のご多幸をお祈りしています。

C 10 梶原 信男
共済年金の生活ですが、余生をカウンセラーとして小さなボランティア活動をするかたわら、趣味と実益(つ)を兼ねて、作詩家としてスタートしています。

C 10 林 友吉
坐骨神経痛で通院中ですが元気にくらし居りますから安心下さい。時々麻雀を楽しんで居ります。会員の皆様によりしくお伝え下さい。

C 10 谷本市三郎
昨年久し振りに白水会総会に出席し先輩後輩の各位と歓談し愉快に過ごしました。卒業後四十五年になり毎年クラス会を開き旧交を温めております。今後白水会の発展を祈ります。

C 10 安部 毅
三月二日より急性肝炎と診断され目下奈良県立病院

入院中。今は薫風の中新樹のトンネルを歩く日の一日も早い事を願っている次第です。

C 13 木村 等
ネオフィルター工業㈱に勤務タバコ用フィルターを製造しています。現在、わかば、エコー、および北海道、四国、九州地区のハイライトについて居ります。せいぜい御愛用の程白水会の皆様によりしく。

C 14 上田 猛雄
元気にやっています。
C 15 橋本 恒市
耐火物業界は構造不況でありますすががんばっています。

C 16 藤元 京次
去る四月二十日付をもって大阪セメント㈱を退職しましたので今まで十分できなかつた地域社会への奉仕に専念すると共に次の人生のため種々計画中です。

C 16 花城 清文
大阪セメント㈱よりダイスレ工業㈱に転出しております。元気でです。創立六十周年を間近に控え、白水会並びに卒業生諸子の御発展を祈ります。

C 18 伊勢 清秀
先日所用で十数年ぶりに母校をたずね、大変なぶり

ように驚いています。しかし本館や窯業科の建物はそのまま懐かしい昔を思い出しました。

C 20 湯山 徳衛
会報多謝。坪内先生の訃報に接し大切に残念、先生の御冥福をお祈りします。不確実性の八十年、一生懸命頑張っています。

C 20 楠田 博之
昭和二十年卒は、親泉会を結成し、毎年一回一泊旅行をしており毎回十二〜三名が出席しております。

C 25 笠岡 好
小さなレコード店を始め三年前になります。
C 25 長尾 石広
いまだメカネ不要にて頑張っている。しかし、肩首がよく凝るようになり運動に掛けている。月二回位いのゴルフを楽しみにしている。

C 26 中山 武
名古屋方面にて白水会名古屋支部結成の声有り、名簿資料がないので困っています。結成に要する資料入手を希望する。

C 32 竹村 有朗
月日のたつのも早いもので卒業後二十三年になります。我家でも高一、高三の子供をかかえ、進学問題で

世間並にあわてています。そのたび母校を思い出し、母校発展を身近に感じしております。

C 33 河本 勝
積水化学㈱東京工場勤務、大阪を離れて早や十四年が過ぎました。
C 34 堀 信夫
セントラル硝子の製造部門から営業部門に変わって、早や八年になります。この不況下においても私達はよりよき品質の製品を、誠心とお客様の立場になって販売に前進しております。

C 35 西口 武司
卒業して早や二十年、毎日頑張っております。年一回の白水会誌心待ちにしておりです。これからもよい会誌にして下さい。

C 43 吉村 秀雄
五十三年より、川鉄構内川崎材水島営業所内勤務。早や十二年が過ぎました。六十周年楽しみにしております。

C 45 坂田 博昭
八月には、結婚三年目にして初めての子供ができました。

A 大13 浮田 雄弘
宅にて自適中
A 大13 菊川 東雄
また一年余生の座をむさぼりました。白水会報が53

巻になるのをみて、感慨無量です。当時の野田校長(白水会の名付け親)を思い出します。

A 5 宮崎邦三郎
個人経営の薬品工業に元気に動いています。
A 7 玉島 徳一
二年間大阪市大第三内科に入院現在は外来、会社の方は会長となる。

A 9 高木 貞次
白水会報なつかしく拝見致しました。黄鳩会(9年応化卒同窓会)も、毎年一回会合を開いております。今後の白水会の発展を祈っております。

A 9 奥住 謙一
元気に暮らしています。
A 9 中野 幸雄
年金生活三年がすぎ、お陰で元気におります。会報の中に同期生の名が少ないうれしいが数多くの先輩、後輩の活躍のたよりはうれしいものです。今後もお互の健康を願っています。

A 12 伊藤 俊吾
同窓会、消息明らか25名のうち20名、東京岡山からも参集し、五十五年四月十九日、久方ぶりに歓談の宵を南の丸で過ごしました。懐古の感傷の交錯しています。

A 12 北村 定
塩野製薬㈱赤穂工場に定年後も引き続き勤めています。やや手遅れですが益裁と将棋(現在二段)を勉強中です。
A 18-12 境 邦二
元気で会社に勤めています。

A 14 中原 清治
水をきれいにする仕事をしています。最近では電子工業用の超純水製造装置をROを使って造っています。趣味で居合道をやっています。大阪府剣道所、教士七段です。各地の大会で同窓同好の士に逢えば幸いです。

A 16 吉田 幸栄
小生畑違いの海運関係に勤めておりますが、この業会、不況がマンネリで苦しい場合の方が多いですが、頑張っています。

A 20 大島 龍一
(旧姓 竹内)
写真屋をばつばつとやっています。

A 21 和多田 清
KK中山製鋼所に勤務中。
A 22 大砂古 登
防蝕、防水工事業を行っています。

A 24 西田 貞二
S 54年から一年二ヶ月間
ビルマに向向していまし
た。帰国後宝塚から神戸へ
転居しましたのでよろし
く。

A 31 池田 耕治
玉理化学工業エアゾール関
係担当、54年から京都府一
般高圧ガス保安研究会会長
に就任。

A 34 門脇 二郎
我レ「微生物化学」ノ先
端ヲ行ク、抗生物質デハ、
世界ノ明治製薬ナリ。チロ
コレートはメイジ。

A 35 鈴木 昇
米国内に転動したのは54年
4月、雄大な大陸、何もか
もスケールが大きい。そん
な中で感光紙の製造に励ん
でいます。(アメリカ、リ
ューエレクトロニクス社)

A 36 坂本 善明
元気で藤沢薬品大阪工場
に勤務してあります。54年度
だったと思いますが古賀先
生や藤本先生が工場見学さ
れ、山田先輩が案内されて
した。

A 37 菅原 進
会報楽しく読ませていた
だきました。最近ではカメラ
にこって、毎日あちこち歩
いています。

A 43 伊藤 恵次
永大産業株式会社営業所販

売課にて勤務。

A 44 豊島 良次
チャーターリブランウンをよ
ろしく。元気に働いており
ます。

M 34 三宮 康男

土木建設自営、小規模な
がら仕事に追われていま
す。建設機械なども、今年
はショベルカー、米年はダ
ンプカー、と一台一台と増
やしつづつ夢を果たしていま
す。健康第一で頑張ってお
ります。

M 34 綱野 雅文

昭和53年7月より機械設
計事務所として独立、元氣
で頑張っています。

M 34 西山 瑞彦

ご承知の様に全般的に景
気が悪く、きびしい状況の
中で頑張っています。

M 40 西田 和郎

南国の青空の下、ビール、
酒の配達に頑張っていま
す。

M 43 平川 英雄

私の所属する土木建築業
界はすこし暇になってきて
おりますが、私の担当して
いる設計業務については多
忙な日々が続いています。

M 43 和田 隆喜

60周年行事については、
ご連絡下さい。

昭和55年1月下旬、シン
ガポールでの任期を終え帰
国しました。(日立造船株式
勤務)

M 45 城間 正行
現在の会社(千代田情報
機器社)に入社して五年に
なりました。社の業績も安
定してきて55年度は初めて
大幅な黒字となり臨時ボー
ナスも支給され張切ってお
ります。クラス名簿を送付
して戴きましたが、未だ、
同窓会の計画は進んで居り
ません。しかし今年中には
必ず行方予定です。

M 49 清見 栄治

白水会、機泉会の繁栄、よ
ろしくお願いいたします。

E 42 遠藤 修

毎年のお報、有難とうご
ざいます。滞納申し分けあ
りません。51年/55年度分
振込み致します。(利子は
御容赦下さい)親子4人共
々元気でやっております。

E 44 青木 正次

御無沙汰致して居りま
す。一児の父親になりました。
本年二月より町名変り
ました。

S 22 木條 晃

葛飾エンジニアリング株
取締役社長を任期満了につ
き退任いたしました。在任
中は一方ならぬお引立を賜
わり有難く御礼申し上げます。
さて、このたびはまた縁
ありまして4月20日より協
学化成株(台東区雷門1-
11-6、電83-1683-1)
に勤務致しております。

S 41 中谷 広治

昨年来から入院し一月末
に退院したばかりで、あま
り身体の調子が良くないの
で今年には外出を控えていま
す。(中谷寝具店・自営)

D 7 柴田 惇志

健康第一と心がけている
次回より、よろしく。

東京白水会
会員だより

(往復はがき返信より)

S 12 山村 英雄
柳ジャパン・リサーチ・
ビュロー(興信所)

本年3月から右記会社の仕
事に変更しました。変更通知
を兼ねてお知らせします。
ご用の節はご利用下さい。
(30-453-1691)

S 16 渡辺 孝

53年に帝國纖維株式を定年
退職後、関連の子会社ティ
セン・サンライズの常務取
締役化成事業部長として再
出発しております。

D 16 日笠 富夫

来たる7月23日をもって
日東との縁も切れ、現在出
向中の第一化成株に引続き
勤務する予定です。

D 33 小林 永典

東京5年目、仕事は染料
業界のきびしさを味わって
います。泉工の皆さんお元
氣でしょうか? 社内研修
会のため総会に欠席しま
す。(日本化薬株)

D 49 大竹まり子

(旧姓 大住)
昨秋に長男が誕生いたし

成果が上り、106キロあった
体重が73キロとなりあと10
キロ減を目標に毎日元気に
過ごしています。

C 3 堀 常和

老来(?)ますます健康
(目下のところ)で、あり
がたいことと喜んでいま
す。下手な絵を描くこと、
庭の手入れ、時折りゴルフ
とこまめに動き廻ることが
良いのでは、と思っていま
す。

C 11 小巻 長雄

去年も今年も株主総会の
ため出席できません。残念
ですが。(第一硝子株)

C 15 床井喜千郎

毎度のご招待有難うござ

カタログ・印刷全般
文具・事務用品・印鑑

日南印刷株式会社

森本 正彦 (D52年)

〒556 大阪市浪速区立葉町4-12
TEL (06) 562-3894

います。目下埼玉県下で板硝子の販売を元気でやっております。後輩の松井清氏(C18-12)も参加してくれております。(埼玉板硝子センター)

C16-③ 杉野 義直
城南島に昨年新設の大井工場昨年暮れに日本工業規格表示許可を得て官公庁工事にも納入可能となった。(桐生レミコン機)

C16 岩田 義治
今年4月より教室の主任教授ということで、あまり鶴見へも帰らず、京都にため切りです。来年は出席します。(京都工業繊維大学)

C20 横山豊太郎
動脈硬化症により高血圧症による眼底出血の治療中につき欠席させていただきます。(品川白煉瓦機)

C20 楠田 博之
工機事業本部に所属し、設備関係の仕事をやっております。同窓生とは年一回会合して10名内外にて旅行しております。(日本発茶機)

C38 辰巳 稔
案内書を頂き有難うございました。今回も欠席になりました。今度も欠席になり申し訳ありません。5/9/5/29日まで南米に出張致します。(東北協和カーボン機)

A4 山口 繁一
子供6人(男1、女5)孫13人、長女の長女が今春神奈川大学に入学。僕は70才で現役。ローリー車・ドラム缶とたわむれています。一応は元気で。(中央油化機)

A4 矢田 武雄
柏化成工業機本社工場新設中、5月中は不在勝ちながらご連絡は留守番がお受けすることにいたしております。現在までの科学振興機は事情により工場閉鎖し、生産停止、一時休業とします。お世話の皆様へお礼申し上げます。(明治製業機中央研究所)

A5 榎木野 豊
父、榎木野豊は、昭和55年9月14日胃ガンのため他界致しました。生前の暖いお付合いにお礼申し上げます。(長男・俊一氏) 謹んで哀悼の意を表します。

A11 瀬川栄一郎
当日所用のため残念ながら次回にまた出席させていただきます。

A11 浜田 吉一
イサム塗料機東京工場販売部開発担当官庁指定運動設計業者・建設業者の指定運動に活躍しております。

A16-③ 津田栄次郎
湘南の地に住みついて40年、何とか元気にすごしております。(松下電池工業機蓄電池事業部)

A20 近藤 榮
前年度と変わらず元気にやっています。(住友信託銀行)

A28 仁羽 富造
なかなか実現しない大きな夢を追いつつ相変わらず貧乏眼なしますが、元気でいます。東京白水会ニュース大変楽しく読ませてもらっています。お世話の皆様に御礼申し上げます。(明治製業機中央研究所)

A35 高浜 俊資
折詰券司并当の販売拡大に力を注いでいます。元気にやっています。(機ロッキイ・赤坂ホーライ寿司)

A38 大谷 八峯
5/28/30徳島で学会があり、発表の都合で出席することができません。(厚生省児童家庭局)

M20 長谷川正雄
大日本印刷本社営業本部
長・新宿区市谷加賀町1-1230-1二六六一七〇〇〇
M28 浦浜 陽一
大阪より転勤で清水へ移り19年になります。このた

び念願のマイホームが完成し住みなれた住宅を引越して左記に住所移転しました。清水市梅ヶ谷一七〇一六(〒424) 電〇五四三二一(五六〇四)(武田薬品工業機清水工場)

M32 平井 勲
建材物産部に所属し、ビルの外壁材「アルキヤスト」を販売し、東京を中心に建築設計事務所や建設会社、そして施主を訪問しています。(久保田鉄工機)

M33 矢野 聖治
S563/末/6/末日本海石油機富士工場に出張中です。5/7日E/Cに戻るとハガキが届いております。よろしく。(新潟鉄工所E/Cセンター配管ゲル1P)

M38 安川 正勝
この4月に念願のマイホームを手にし、張切っています。ただ欠点は通勤90分かかるということ、なぐさめは環境が良く住み易いところです。〒292藤沢市亀井野四二九一三(電〇四六六一八二一六四八三)

E53 辰巳 昌一
東京に来てもう3年がたちました。どうにか仕事もおちついてできるようになりました。(機第一硝子)

営業品目

- 空気圧縮機
- 送排風機
- 各種排気装置
- 瓦斯圧縮機
- ポンプ各種
- 各種集塵装置

三 国 産 機 株 式 有 限 公 司

代表取締役 福原初男 (C17年)

事務所 大阪市大正区千島2丁目2番23号
TEL (551) 0 3 6 9 (代表)

車輪塗料・建築塗料専門メーカー



日 南 陽 風 科 友 会 日 本 有 限 公 司
イ サ ム 塗 料 株 式 有 限 公 司

代表取締役社長 清水博司 (A17年)

東京・大阪・名古屋・滋賀・九州・仙台・広島・高松

故山畑阿利一君を悼む

礎 常和 (C3)

君が入院したと聞いたのは八月二十五日のこと、奥様からの知らせであった。七月始め知人の雅儀に参列、暑い中を急坂を登り疲れを覚えて以来、体調をくづし遂に黄胆症状が現れて来たので、七月二十一日東京千駄木の日本医科大学病院(長男整形外科医山畑阿良太氏の母校)に入院したが、経過はあまりよくない



彫塑家 山畑阿利一略歴

- 1908年 東大阪市鶴野山町に生る
- 1928年 大阪市立新化工業学校卒業(彫塑科)
- 1929年 上野川美術学校に入学(彫塑科)
- 1930年 帝展に(粉筆) 初入選
- 1930年 帝展に(粉筆) 再入選
- 以後毎年入選
- 此の間第一美術協会展に(第一美術展) 入選
- 1935年 文展(帝展改名)第一回展(母性) 入選
- 1936年 文展(帝展改名)第二回展(いづくし) 入選
- 1937年 文展(帝展改名)第三回展(母子) 特選
- 1938年 文展(帝展改名)第四回展(みのり) 再特選
- 1939年 文展(帝展改名)第五回展(秋) 無鑑査推薦
- 以後文展無鑑査となる
- 此の間模造社展に(模造) 出品となる
- 1945年 日展(戦後文展改名)第一回展に(存在) 出品
- 以後毎年出品
- 此の間都市美術展に(大地) 文部大臣賞
- 1955年 日展 審査員に推薦される
- 1956年 日展 審査員に推薦される
- 1957年 日展 審査員に推薦される(中絶日本新聞主催)に(種樹)出品
- 1962年 日展 審査員に推薦される(中絶日本新聞主催)に(種樹)出品
- 1963年 日展 審査員に推薦される
- 1970年 日展 審査員となる

訃報

山畑阿利一氏

業科三年卒業の彫塑家山畑阿利一氏が昨年十月十四日逝去されました。謹んで御冥福をお祈りいたします。

いとこのことである。早速病院に見舞ったところ、顔色は冴えないが元気そうに見える、ベッドに起上ってしばらく雑談した。奥様の話を少し違うように思えたが、病氣は胆嚢に深く進行していたようであった。九月二十一日再び訪ねたところもう元氣は大分おとろえたようである。連日の

れた。享年七十二才、病因は胆道痛とが。十月十五日お通夜、十六日告別式が世田谷代沢の自宅において神式によりしめやかに行われた。喪主は敬枝夫人、葬儀委員長は芸術院会員田部勝三氏でその弔詞は故人の彫塑界での活躍を語ってふさはしいものであった。友人総代として泉工同意

の小学生が故人のあたたかい人となりをつたえてはなむけとした。白水会、泉藻会、東京白水会よりの献花は霊前を飾り、日展彫塑関係の会葬者ひきまきらず、また大阪よりわざわざ村上元校長が、また東京白水会代表として蜂須賀(C5)木多(D16)日楚(D16)の諸君が参列された。

故山畑阿利一君は泉工出身として異色の道を歩んだ人である。昭和三年母校を卒業するや直ちに上京し、川端画学校に入り、小倉右一郎に師事し彫塑を学び始める。生来の芸術的資質は益に存分伸びる処を得たのであろう。翌四年帝展に見事初入選したので始め以後毎年入選を続け、昭和十年代には既に彫塑家としての確たる地歩を築く。帝展から文展、更に戦後日展と時代は移っても故人の制作は続き、この間特選二回を受け、無鑑査から審査員、評議員を経て、現在は日展参事、審査員、日本美術家連盟会員、彫塑会委員、日本彫塑会委員の要職にあつた。

その生涯は彫塑一筋に貫き、最後まで矚目もふらずに制作に打込んで遂にたおれた、いはば彫塑に殉じた尊い充実した人生といえよう。

今年の日展には、写真の

遺作が出品された。もう来

年からは見られなくなつたが、君の芸術的な血は三男利久氏(在仏彫塑家サロンドートンヌ会員)にあまるところなく引継がれていることであらう。

つしんでご冥福をお祈りする次第である。敬枝未亡人からは、白水会同窓から多数の弔電をいただき、感謝の意を表されたことをお伝え申し上げます。

× × ×

泉工旗に護もられて 私の戦歴と先生方のご恩

D7 柴田 惇 志

今を去る四十四年前、日支事変勃発と同時に召集を受けた私は輜重兵第四連隊(堺市金岡)から自動車隊小隊長として急遽北支に派遣され、緒戦の保定攻略から第二十師団と共に山西省太原に入城し、ここで昭和十三年の元旦を迎えました。正月のこととて久しぶりのんびりし、隣の中隊に所属する四宮 明氏(大14応化、但し名簿脱落)と杯をかたまひけし声漕橋以来苦勞の数々を話合いました。

思へば北京からこの太原へは五二〇軒に及ぶ悪路や娘子関の峻険迷路と極寒(零下20度)に悩まされ乍ら第一戦部隊がこんなに早く制圧できたのは軍馬に変わる自動車輜重の補助があったること、最前線の歩兵が砲兵部隊に軍馬は沢山いるが、その輸送力は全く「蚊の泪」進攻作戦が延びるに従って、破壊された鉄道線路を徹夜で修復する鉄道連隊とともに弾薬、糧秣を敵と対峙する最前線に補給する自動車隊の輸送のあって

今を去る四十四年前、日の進撃準備がすぐに出来るのだが、自動車隊の兵員はその半数以上が唯、運転免許を持つだけの未教育兵ばかり、その掌握は夢にも思わなかった苦勞の連続でした。

さて次は再び京漢線を南下して「夢の枕」で有名な邯鄲から西に向って再び山西省の山岳地帯へ、ここで始めて毛沢東の指揮する八路軍に遭遇し、岩山に待ち構へる敵兵に襲撃されることと幾度か、ついに四宮先輩は大膽部関通銃剣を受けて死線を放浪すること八時間、やっとのこと友軍に収容され内地運送後兵役免除、その時小生は七〇軒先の最前線部隊に居たために孤立無援となりそれから一ヶ月後にやっと敵の包囲を脱出して黄河北岸の河南省に到達し、休む暇なく北支戦線最大の戦場、徐州会戦への物資輸送に明暮しました。最前線からの戦傷者後送も我々の重要な任務でした。

思へば第一線の夜はローソク生活、ランプがあっても灯油なく唯月あかりに照らされて内地を語りあう前線生活から電燈の灯る明るい街、そして北京からの列車も通じ既に在留邦人も三百人程住んでいる市街地だと内地の家族に知らせたら、出征当時重病で寝ていた母親がすっかり健康を回復していたので、天津で会社勤めをしている異弟を訪ねて行きたいと云い出し、果たして留守部隊の協力を得て表現する運びとなりました。このことを知りた遺藤仁太郎君(C-7)は早速母校を訪ねて泉工記章の面かれた白旗に木村翠校長先生を始め四十名に及ぶ先生方から墨痕鮮やかな寄せ書を戴いて長途の旅に出る母に届けられ、喜ぶこび勇んで釜山経由で山海関を通り天津から馬弟に付添われてはるばる私の部隊を訪ねてくれました。泉工記章を取巻くご芳名に感慨無量、部隊長には「大変な果報者」と祝福され、それ以来誰彼なしに母校を紹介して鼻高々、誠に楽しい思をさせて戴きました。

元気で帰還したことを喜んで下さいました。この年紀元二六〇〇年国内は率初気分には誇り溢れていました。日本を取巻く国際情勢は益々逼迫し最早や大戦必至の状況に進んでおり、そこで私は再び中国に渡って国策会社の一員となり理想実現に邁進しましたが再び現地で召集を受け今度は

揚げてひたすら先生方のご加護を心から味いました。かくして退院後に待っていた任務は、何んと今叫ばれている自動車用代替燃料のアルコール生産設備の急造でした。大本営作戦命令により陸軍省から派遣された技術要員と共に青島、濟南、天津、北京地区に集中しての工場建設と華北全域からの甘藷芋集買を貨物(糧秣)廠に指示して日夜飛び廻りや々と生産軌道に乗せたのは二十年三月でした。その頃アメリカ軍は沖繩、硫黄島へと空軍基地を前進させ、いよいよ日本上陸作戦の準備を着々と進め



思へば北京からこの太原へは五二〇軒に及ぶ悪路や娘子関の峻険迷路と極寒(零下20度)に悩まされ乍ら第一戦部隊がこんなに早く制圧できたのは軍馬に変わる自動車輜重の補助があったること、最前線の歩兵が砲兵部隊に軍馬は沢山いるが、その輸送力は全く「蚊の泪」進攻作戦が延びるに従って、破壊された鉄道線路を徹夜で修復する鉄道連隊とともに弾薬、糧秣を敵と対峙する最前線に補給する自動車隊の輸送のあって

思へば第一線の夜はローソク生活、ランプがあっても灯油なく唯月あかりに照らされて内地を語りあう前線生活から電燈の灯る明るい街、そして北京からの列車も通じ既に在留邦人も三百人程住んでいる市街地だと内地の家族に知らせたら、出征当時重病で寝ていた母親がすっかり健康を回復していたので、天津で会社勤めをしている異弟を訪ねて行きたいと云い出し、果たして留守部隊の協力を得て表現する運びとなりました。このことを知りた遺藤仁太郎君(C-7)は早速母校を訪ねて泉工記章の面かれた白旗に木村翠校長先生を始め四十名に及ぶ先生方から墨痕鮮やかな寄せ書を戴いて長途の旅に出る母に届けられ、喜ぶこび勇んで釜山経由で山海関を通り天津から馬弟に付添われてはるばる私の部隊を訪ねてくれました。泉工記章を取巻くご芳名に感慨無量、部隊長には「大変な果報者」と祝福され、それ以来誰彼なしに母校を紹介して鼻高々、誠に楽しい思をさせて戴きました。

斯して三年三ヶ月の戦線から復員して早速母校を訪ねたら先生がたもご満悦、

揚げてひたすら先生方のご加護を心から味いました。かくして退院後に待っていた任務は、何んと今叫ばれている自動車用代替燃料のアルコール生産設備の急造でした。大本営作戦命令により陸軍省から派遣された技術要員と共に青島、濟南、天津、北京地区に集中しての工場建設と華北全域からの甘藷芋集買を貨物(糧秣)廠に指示して日夜飛び廻りや々と生産軌道に乗せたのは二十年三月でした。その頃アメリカ軍は沖繩、硫黄島へと空軍基地を前進させ、いよいよ日本上陸作戦の準備を着々と進め

還基地となる天津引揚集結所の指揮班員を命ぜられ部隊と別れて再び天津へ、そこで最後の任務につきました。

当時の天津は沖繩からやって来たアメリカ海兵師団が治安を維持し、アメリカ本国の指令に基づいて揚陸用舟艇(L・S・T)が配船されることとなり、これに乗船させる待機中の宿舎の世話から帰国手続、そして戦犯容疑者の残留処置等その業務は戦場を駆け巡ることとは全く異なった多忙な毎日の連続、殊に昨日までの安易な民留民生活が災いしてか、毎日トラブル続

始まるE才育目的P.H.S.S. 2011年10月16日

いる。午後三時までの作業で、一日のノルマの一、五倍もかたづけしてしまったのである。長束のところには掘え付けの要員として女性七人を含め計十五人の中国人従業員たちが配属されていた。彼らが怠慢だったとは長束も思わない。しかし日本人の技術者の目から見て、まどろっこしい面があったことは事実だ。……与えられた作業を終ると、兵士たちは雪の中に消える

ように立ち去って行った。「中国へ来て、人民解放軍を指揮するとは思ってもみませんでした」二月十四日最も遅れていた紡績機械の掘え付けは完了した。寒い工場の片隅で、昼食の万頭をばおぼっていた兵士たちの姿が、いまま長束の脳裏に焼き付いている。(昭和五十六年四月四日 サンケイ新聞より 一辻村)

昭和55年度

会費・寄付納入一覧

●繊維工業科

- 一〇、〇〇〇円
- 9 松本吉堯 34 川瀬充雄
- 六、〇〇〇円
- 38 米沢秀昭
- 五、〇〇〇円
- 4 布谷伊光 10 三浦良貴
- 33 久保 勝
- 三、〇〇〇円
- 3 中本 勉 7 佐野正三
- 16 中杉幸宇太郎
- 27 奥田和之 27 山田信一
- 二、〇〇〇円
- 8 藤條正夫 15 高橋誠一郎
- 15 時吉清博 16 渡部 孝
- 17 西谷千秋 17 毛利 忍
- 33 上瀬和夫 36 吉岡弘泰
- 38 兼本武紀 42 池内祥夫
- 一、〇〇〇円

●色染工業科

- 5 田中 勇 7 神田 茂
- 7 岡本亀吉 9 和田太郎
- 9 桃谷太喜二 10 谷 馨
- 10 堀 秀雄 12 山田多市郎
- 12 林 利一 12 山村英夫
- 12 多胡正治 13 藤田明雄
- 13 川口喜三 13 金田 毅
- 14 庄司 弘 15 大坪吉行
- 14 荒井政敏 15 大石 博
- 15 喜多俊雄 15 前川良夫
- 16 桂川錦一郎 16 佐竹惟信
- 16 河江繁康 16 沖 奨
- 16 角山圭二 16 五十崎 彰
- 17 武藤貴志 18 藤岡敏夫
- 18 上田茂実 18 藤川一市
- 20 黒田芳昭 20 佐渡秀則
- 21 村上博史 27 岡田和幸
- 28 小西一正 31 三國 広
- 33 浜本哲郎 33 原 邦生

●工業化学科

- 7 松田利三
- 五、〇〇〇円
- 13 鎌田修一
- 三、〇〇〇円
- 12 田中義人 12 中川市造
- 16 宮崎精一 17 岡崎弘男
- 27 中屋敷(上田)正
- 29 岸岡 晁 34 籠谷文夫
- 二、〇〇〇円
- 12 長井静也 14 宮内 彰
- 17 吉浦 稔
- 一、〇〇〇円
- 2 小川次助 2 白石 巖
- 3 石村芳郎 3 木内忠五郎
- 3 永富雅三 4 奥川敏郎
- 4 西機民雄 5 杉本俊夫
- 7 福本長五郎 7 安田 穰
- 8 岩倉晴美 9 安田育雄
- 10 山川繁夫 11 森 信也
- 12 加藤春雄 12 松田家勇
- 13 大塚知之 13 上武鹿三

●薬業科

- 13 龜井幸一 13 柴田英治
- 13 中務昌治 13 平松秀一
- 16 奥村耕造 16 中川奈良一
- 16 福嶋節生 16 岬 芳郎
- 16 水川嘉海 17 西川嘉博
- 18 高橋 肇 20 中村友三郎
- 20 柴田和男 20 濱本浪雄
- 21 中西淳隆 28 有持雅司
- 29 田中靖二 29 瓜坂元一
- 30 福森文夫 30 松谷 保
- 30 遊津勝弘 32 小松栄治
- 32 瀧本廣之 32 本間 靖
- 33 出村介嗣 34 大村 実
- 34 藤下 讓 35 林田慶三
- 35 中塚正昭 35 越谷嶺司
- 37 岩城 智
- 37 長谷川康一郎
- 38 西村雅晴 38 二宮昭男
- 38 福山博之 39 佐々木泰久
- 40 渡辺 一 41 菊田和彦
- 41 広尾正樹
- 42 川本(武田) 映子
- 42 田代文代 42 古川 伸
- 43 佐藤(加久田) てるゑ
- 43 高野(浜口) 加代子
- 43 多田 司 43 根津 進
- 43 橋本享子(増田美知子)
- 43 兵藤雄二
- 45 小森(津代) 久子
- 45 田中(加藤) 順子
- 46 荒川博行
- 47 浜田(加藤) 久子
- 49 沖元英一
- 一〇、〇〇〇円
- 12 山下俊彦
- 五、〇〇〇円
- 8 布谷 功 13 片石 実

●工業化学科

- 16 花城清文 17 田中 健
- 17 福原初男
- 三、五〇〇円
- 30 岡部敏雄
- 三、〇〇〇円
- 8 三好勝己 18 北出俊郎
- 32 竹村育朗 33 石河雅祥
- 二、〇〇〇円
- 6 松井穂三 10 川上末夫
- 13 木村 等 14 飯野 巖
- 15 橋本恒市 15 岡崎之男
- 17 木村亮太郎 17 広居英武
- 25 坂口 輝 25 笠岡 好
- 33 野野善彦 33 木内政雄
- 35 西口武司 37 松尾忠勝
- 38 中村公男 39 森永正園
- 40 堺 邦男
- 一、〇〇〇円
- 3 隅田 修 3 木谷亀雄
- 4 安野三弥 4 長野蘭蔵
- 4 徳本 操 6 清水 剛
- 6 玉川英夫 6 松用一之
- 6 岩橋信良 6 南 房次郎
- 7 伊奈岡芳次 7 土井一人
- 7 藤村嘉夫 8 酒井卯三郎
- 8 小林豊太郎 9 森分重信
- 10 浅井松太郎 10 安部 毅
- 10 谷本市三郎 10 林 友吉
- 11 増田富雄 12 井本 実
- 12 辻 芳次 12 横井善一
- 13 大石皓造 14 上田猛雄
- 14 堤 伸夫 14 高橋喜三郎
- 15 後藤三雄 15 岡田 浩
- 16 中山悦一 16 長谷川恒治
- 16 大嶋安司 16 家村 巖
- 16 前川善昭 16 藤元京次
- 16 浜口隆信 16 北村一郎
- 17 治良政幸 17 平沼守男

●工業化学科

- 17 高下喜久蔵 17 黒田 豊
- 17 古武正幸 18 伊勢清秀
- 18 林 正温 20 高下健吉
- 20 中本析男 20 巽 伊作
- 20 千葉寿一郎 20 楠田博之
- 20 横山豊太郎 20 井原 巖
- 20 湯山徳衛 25 池田富士夫
- 25 長尾石廣 26 中山 武
- 29 古川明二 30 小浦清治
- 32 曾根 朗 33 河本 勝
- 33 北村公男 34 妹尾 修
- 34 押江良弘 35 佐賀木康邦
- 35 今井 寿 39 山内正彦
- 39 中垣茂樹 39 藤本喜久男
- 39 松村 満 41 佐賀木敏治
- 41 藤田隆文 41 岡田千春
- 43 吉村秀雄 43 池本太栄
- 45 橋本雅信 45 坂田博昭
- 46 堺 恒雄 55 杉山 誠
- 一〇、〇〇〇円
- 15 熊西清治
- 五、〇〇〇円
- 17 清水博司
- 三、〇〇〇円
- 4 佐々木義人 10 齋藤一博
- 12 大都城康雄 13 木原陸男
- 16・12 北村 定
- 16・12 合田富美雄
- 二、〇〇〇円
- T 15 山岡秀夫
- 4 山口繁一 6 近藤恒夫
- 11 瀬川栄一郎 12 原 勝与
- 20 藤本光成 24 川下 勇
- 31 池田耕治 36 一階栄一
- 37 菅原 進 37 高瀬 迪
- 43 若林 昇 43 伊藤恵次
- 一、〇〇〇円

- T 13 菊川康雄
- T 13 浮田雄弘
- T 15 高松定雄
- T 15 北原吉男
- T 15 湯浅久孝
- T 15 渡辺 清
- 3 田淵新吾 4 大東重次郎
- 5 大内吉一 5 大島節衛
- 5 立岡末雄 5 宮崎邦三郎
- 5 西島徳太郎 5 長尾武男
- 7 中嶋直一 7 藤井 武
- 7 杉江正啓 7 荒井与四郎
- 7 玉嶋徳一
- 8 神林鉄五郎 8 齋崎 巖
- 9 中野幸雄 9 奥佐謙一
- 9 南 彰 9 高木貞次
- 10 八木吉太郎 10 有田正雄
- 11 西本久雄 11 竹中利夫
- 11 永井淳治 11 井川英三
- 12 榎村 稔 12 伊藤俊吉
- 12 長谷川秀夫 13 榎井吉明
- 13 田代徳輝 13 松山雅隆
- 13 吉村信二 13 丸国 孝
- 14 中原清治 14 小崎 達
- 14 山田武二 15 東野三郎
- 15 石津茂男 16 吉田幸栄
- 16 林幸一郎 16 12時松健
- 次 16 12松下幹夫 17 永
- 田三郎 17 12横山幸男
- 17 12川田一夫 17 12橋
- 本博 17 12荒木桂一
- 18 大平隆章 18 12岡本広
- 高 18 12北田 章 18 12
- 12境 邦二 18 12田辺豊
- 20 桑原一策 20 大島龍一
- 21 藤田寅雄 21 和多田 清
- 22 湯原照雄 22 大砂古登
- 24 細川忠雄 24 小久保賢治
- 24 西田貞二 24 野辺晴美
- 25 美濃幸雄 26 河田 保
- 28 岡田充弘 28 福林 徹
- 28 小森堆有 28 福村吉晃
- 28 信塚 貢 28 桑田 進
- 28 南園良尚 28 塚谷俊介
- 29 山崎公三郎 29 石井良治
- 29 野村 実 29 山本光義
- 29 小谷川毅 29 浜口憲弘
- 30 中谷省二 30 田淵博己
- 30 西原隆司 31 若松邦彦
- 32 渡辺嘉郎 32 尾崎誠悟
- 32 松井靖男 32 長越俊之
- 32 亀尾 貴 33 本摩恒利
- 34 佐竹 孝 34 門脇二郎
- 34 畑 暢一 34 大西弘一
- 35 鈴木 昇 35 寺田義彰
- 36 荒谷正博 36 林 功
- 36 山本美夫 36 坂本善明
- 37 高橋 昭 37 阪上陽三
- 37 守良宗章 38 中尾 章
- 38 東 勉 39 岩崎義政
- 39 浜野 巖 39 野中征夫
- 39 根采利行 39 橋井 久
- 40 池田隆司 40 熊田俊夫
- 40 久延義弘 40 生駒弘之
- 41 馬場昭光 42 久川道夫
- 43 池田昭三 43 増田耕司
- 44 豊島良次 44 倉沢光男
- 44 山登正夫 55 山本英喜
- 化学機械科
- 一〇、〇〇〇円
- 33 岡岡貞治
- 五、〇〇〇円
- 26 中川俊和
- 四、〇〇〇円
- 26 岡部浩也
- 三、〇〇〇円

- 26 溝瀆初男 28 平山茂義
- 35 寺台行生 36 北口哲男
- 38 三好康之 40 西田和郎
- 41 柳 和雄 42 萩原文吾
- 二、〇〇〇円
- 34 井上信雄 37 間 文彦
- 38 河本博志 38 松本義範
- 40 大山郁夫 40 芝元邦章
- 45 城間正行
- 一、〇〇〇円
- 18 西井正博 18 飯島一馬
- 18 黒沼一之 18 竹廣幸生
- 18 田部善保 19 青木昭二
- 20 眞砂良一 21 森 要
- 25 西川義人 25 藤本正治
- 25 諸山 登 28 原田博文
- 29 林 兼司 30 勝 啓次
- 31 木村作太 31 川瀬泰造
- 32 藤原乙太郎 32 福永歳蔵
- 33 池田正美 33 小林秀行
- 33 塚原輝雄 33 御野格一
- 33 戸上達夫 34 犬塚達夫
- 34 蔭山 宏 34 三宮康男
- 34 網野雅文 34 西山瑞彦
- 34 広田 実 35 境 義昭
- 35 玉崎継一 35 村山洋一
- 35 焼野耕治 36 伊藤恭英
- 36 猿田一男 36 野路末好
- 36 藤田義治 36 森 象三
- 36 三宅正治 37 石川博信
- 37 井上重雄 37 大川伸一
- 37 玉置 昇 37 中須繁行
- 37 沼田清夫 37 前川会四郎
- 38 是枝征司 38 高橋恒晴
- 38 田辺嘉之 38 吉田 聖
- 39 板井征弘 39 岩田明弘
- 39 中島 勲 39 岡本欣三
- 39 落合正明 39 田中 潔
- 39 永沼善和 40 中本 正
- 40 三宅孝史 40 安井博司
- 41 西浦秀男 41 富田清吉
- 42 加藤 章 42 木下秀男
- 42 田里吉男 43 平川英雄
- 44 楠葉敏郎 44 小谷修一
- 44 和田隆喜 45 金沢豊巳
- 45 関本 勇 45 根本史郎
- 電気科
- 五、〇〇〇円
- 42 遠藤 修
- 四、〇〇〇円
- 41 山口 實
- 一、〇〇〇円
- 41 田中啓治 41 中原英男
- 41 河端 保 41 薄井 修
- 41 今西行雄 43 茨 雅章
- 43 東野健一 44 青木正次
- 44 野正夫 44 内田伸三
- 44 岡崎雅寿 44 松浦 幹
- 44 鈴木重正 44 酒井 武
- 45 甲 和久
- 55年東京支部総会での受領分
- 六、〇〇〇円
- D 16 本多 実
- 三、〇〇〇円
- A 4 山口 繁一
- D 11 天野嘉信
- A 13 松本諒士
- 一、〇〇〇円
- S 16 後藤達之助 S 21 本条
- 晃 S 22 佐々木良二 S 46
- 大曲茂彦 D 7 柴田博志
- D 16 日替富夫 D 33 氣谷清
- 治 C 3 碓常和 C 18 大前
- 博 C 30 菅野敏雄 C 36 堀

60周年記念事業募金達成に協力しよう
大阪白水会の発展を祈ります

東京支部一同頑張っております

(東京及周辺地区へ転勤の会員諸氏)
(是非支部事務局迄御報せ下さい。)

東京支部長 大都城康雄 (A12卒)
支部会員一同

東京連絡所: 東京都品川区北品川 2-25-16
東洋化工(株)内玉田敏也 03-471-4292
東京連絡所: 東京都足立区東和 2-15-22
(庶務担当) 横ロッキー内高浜俊資 03-606-5561

- 田真三 C 44 後藤義文 A
- 7 山下辰雄 A 12 大都城康雄 A 16 太田好弘 A 18 長谷川規 A 18 阪口利雄 A 18 大道邦雄 A 20 宇佐美昭司 A 28 丹羽富造 A 29 玉田敏也 M 20 長谷川正雄 M 38 大谷八峯
- (56年度)
- 一、〇〇〇円
- C 4 長野蘭蔵 C 4 木村要
- 六十周年記念事業募金 (55年度)
- 二〇、〇〇〇円
- M 41 畑野只二
- 一〇、〇〇〇円
- C 10 梶谷信男 A 7 玉嶋徳一
- 七、〇〇〇円
- A 7 大都城康雄
- 五、〇〇〇円
- C 4 長野蘭蔵
- 一〇、〇〇〇円
- C 12 横井善一 C 17 福原初男
- C 17 黒田豊 C 18 大谷正男
- C 20 大貫英男 C 20 湯山徳衛
- S 35 田中雄一郎
- 四、〇〇〇円
- S 37 富田孝一 S 38 米沢秀昭
- S 42 木内利雄 A 4 山口繁一
- 三、〇〇〇円
- M 26 岡部浩也
- 二、〇〇〇円
- S 38 久保田勇之助
- D 34 籠谷文夫
- A 11 瀬川栄一郎
- A 17 荒木桂一 A 38 東 勉
- M 36 北口哲夫 M 26 溝瀆初男
- S 16 沖 奨 C 45 橋本雅信
- A 16 北村定 C 43 吉村秀雄
- 五〇、〇〇〇円
- (56年度)
- 五〇、〇〇〇円